

# **大学誘致に伴う波及効果の検証**

～ 立命館アジア太平洋大学（APU）開学 10 周年を迎えて ～

**平成 22(2010)年 4 月**

## 目 次

第1章	立命館アジア太平洋大学(APU)の誘致・開学に至る経緯	1
第2章	APUがもたらした波及効果	
	大学誘致に伴う様々な効果	3
	経済効果	7
	人口面での効果	12
第3章	APUに対する県民意識調査	17
第4章	大分県知事・APU学長 対談	21

### 【参考資料】

経済波及効果	25
アンケート・ヒアリング調査	36

## 第1章 立命館アジア太平洋大学(APU)の誘致・開学に至る経緯

立命館アジア太平洋大学(APU)は、大分県および別府市が誘致し、学校法人立命館と協力しながら、平成12(2000)年4月に大分県別府市で開学した。誘致・開学に至る経緯は、概ね次のとおりである。



### 大分県の当時の状況 ～若者の定住、過疎からの脱却～

大分県の人口は、昭和60(1985)年の125万人を境に減少に転じた。この背景には、東京一極集中や若年層を中心とした人口の流出、出生率の低下などがあると考えられ、大分県では、過疎問題の解消が急務となっていた。

このため、かねてより企業誘致を推進し、雇用の創出と所得の向上に努めていたが、定住人口の減少を食い止めると同時に、交流人口の拡大も図ることができる方策として、大学誘致にも着目。平成5(1993)年度には、国内の有名私立大学に対して「大分県への進出意向調査(アンケート)」を行うなど、誘致を模索していた。

### 立命館の当時の状況 ～「アジア太平洋時代」の到来を見据えて～

他方、立命館では、平成3(1991)～7(1995)年度を計画期間とする「第四次長期計画」に基づき、滋賀県大津市にびわこ・くさつキャンパスを新設。理工学部を同キャンパスに移転・拡充を図ると同時に、新学部の増設や教員組織・カリキュラムなど、大胆な改革を実施した。

このことと並行して、アジア諸国が急速な発展を遂げ、「アジア太平洋時代」の到来も予想される中、来る21世紀に求められる大学像として、アジア太平洋地域における学術・文化の創造拠点となる、新しい大学創設の必要性を認識していた。

### 誘致の実現

大分県からの進出意向調査(アンケート)がきっかけとなり、立命館との間で、誘致(進出)の可能性について検討が行われた。また、設置場所についても、複数の候補地から別府市十字原が最適との判断に至り、平成7(1995)年9月、立命館、別府市、大分県の三者によって、APU設置に関する覚書が調印された。

その後、大分県・別府市両議会による可決・承認を経て、平成9(1997)年4月には「立命館アジア太平洋大学設置基本協定」も、調印された。

新大学については、これまでに例のない多数の留学生を受け入れることや、私立大学に補助金

(税金)を支払うこともあり、地域住民の間には賛否両論がみられた。このため、十分な理解が得られるよう、新大学の計画について説明を尽くしたうえで、平成9(1997)年10月に建設工事が開始された。

## 開学への支援

APUは、公私協力方式(地方自治体が用地や補助金など財政的な協力をして私立大を開設する方式)で設置することが取り決められており、総事業費297億円に対して、大分県は150億円の補助を、また、別府市は42億円の補助と大学用地(市有地約42ha)の無償譲渡など、大規模な協力を行った。

このほか、多くの留学生が直面するであろう、経済面での障壁を解消する必要もあり、国内の経済界からも協力を得て、40億円を超える規模の奨学金基金が創設された。

## 大学の開設

設置については、平成11(1999)年12月に文部大臣から認可され、APUは、平成12(2000)年4月に開学した。

当初の計画どおり、学生の半数が留学生(国際学生)で、教員も外国籍教員が半数を占めており、日本語と英語の2ヵ国語で講義が受講できるユニークなシステムを採用するなど、日本では初めての本格的な国際大学となっている。



※ 平成21(2009)年11月1日現在

学 部 : ① アジア太平洋学部(APS、2, 735人)  
② 国際経営学部(APM、3, 029人)

大学院 : ① アジア太平洋研究科(修士課程177人・博士課程64人)  
② 経営管理研究科(81人) ※ 大学院は平成15(2003)年に設置

在籍規模 : 6, 162人  
97ヵ国・地域の国際学生(留学生)2, 924人および日本人学生3, 238人

## 第2章 APUがもたらした波及効果

### 1 大学誘致に伴う様々な効果

卒業後も県内での活躍を期待 ～地元高校生のAPU進学と、県内企業への就職～



平成17(2005)年度から21(2009)年度までの5年間でみると、大分県内の高校からは、毎年、130名前後の学生がAPUに進学しており、国内入学生の2割程度を占める状況となっている。

一度に10名以上の進学者を輩出する高校も、毎年2～5校みられ、APUの開学は、県内子弟にとって地元での進学の実験地を増やしたと言える。

他方、APUを卒業後、学生の多くは首都圏を始めとする県外各地へ就職(または進学)しているが、県内企業を就職先と定め、そのまま県内に留まる者もこれまで200名近くに上っている。

例年、県内企業に就職する日本人学生の、2～4割ほどが大分県外の出身者であり、国際学生の就職も5～10名程度ある。国際学生を採用しているのは、海外への進出や貿易取引の拡大を目指す企業や、ホテル・旅館などが中心となっており、学生の出身国も中国や韓国はもとより、ベトナムやモンゴルなど多岐にわたっている。

### 多数の自治体との交流協定の締結

APUでは、地域貢献を重要な使命のひとつと位置づけ、平成13(2001)年3月の三重町(現豊後大野市)との交流協定締結を皮切りに、県内18市町村のうち13市町や長野県飯田市などと交流協定を締結している。

地域づくりや観光振興、環境問題など、それぞれの地域が有する課題にAPUが協働して取り組み、調査・研究や助言などを行っている。

### 具体的な取組事例 ～海外との交流への発展や斬新なまちづくり提言など～

観光が主要な産業となっている別府市では、大学と地域が連携して、欧米では一般的になっている、長期滞在型の観光を新たに浸透させる取組が進められている。美しい棚田など、景観が優れた山あいの地区を選定し、築後100年以上が経過した古民家を宿泊施設に改修、住民と協力しな



がら、広報やツアーの企画、施設の運営協力などを行い、交流人口の増加を目指している。

また、三重町(現 豊後大野市)では、同町に伝わる『真名野(まなの)長者伝説』について、教員と学生がフィールドワークなどを行い、韓国益山(イクサン)市の『武王説話』と同じ起源をもつのではないかとの研究成果を紹介。これをきっかけに、研究者の行き来など文化面での交流が実を結び、平成17(2005)年に豊後大野市と益山市との間で、友好交流協定が締結されている。

このほか、臼杵市では、留学生らとの協働を通じて、若者や海外の視点をまちづくりに活かしている。多数の学生が、武家屋敷での宿泊を体験しながら、景観の改善や防災のあり方などについて、テーマ毎にグループ調査を行い、歴史的建造物を活用した、臼杵の新しい魅力を引き出すための様々な提言を行っている。また、その内容は、市民にも公開講座のかたちで発信されている。

### 地域の課題解決への貢献 ～共同研究～

大学が本来有している機能のひとつである研究支援は、共同研究というかたちで地域のニーズにも幅広く応えており、課題の解決や自治体の政策形成に貢献している。

山国町商工会(現 中津市しもげ商工会)では、江戸時代に、天領(幕府直轄領)日田と中津を結んでいた街道『日田往還・中津街道』を復元し、観光資源として活用することを計画。平成19(2007)年にAPUと研究交流協定を締結した。

教員と学生が踏査をしてルートの特定に努め、『往還道マップ』を作成するだけでなく、古道の草刈や、街道沿いの空き店舗や旅館の運営方策の提案なども行った。

平成21(2009)年には、県内外から350人を超える参加者が集まり、3日間の行程で『日田往還復元記念ウォーク』が開催された。日田市豆田町から中津城に至る55kmの行程は、かつて頼山陽(江戸時代の儒学者)や夏目漱石も辿った歴史と、耶馬溪など美しい景観の両方を歩きながら楽しむことができるルートとなっており、今後、参加者の一層の増加が期待されている。



#### 共同研究の例

研究テーマ	自治体名
豊肥地域における地域資源の点検・活用方策	大分県
観光統計の方向性	〃
旧肥後街道を活かした観光振興方策	大分市
外国人旅行者の宿泊動向分析	別府市
小口のCO2排出権を束ね合わせるシステム構築	杵築市
町の観光資源を活用したウォーキングコースの開発	日出町

## 教育面での貢献

### 次代を担う子ども達の国際感覚の養成 ～小中学校～

APUにとって地元となる別府市では、同大学が開学した翌年から、市内の留学生を講師として小中学校などに派遣し、語学教育や異文化理解の促進を図っている。参加する留学生も年々増え、最近では、年間100人を超える規模に上っている。

大学から遠く離れた佐伯市との間でも、APUの学生団体が市教委と主体的に話し合いながら、盛んな交流活動が行われている。平成18(2006)年度からは、国際学生が「佐伯市国際交流支援アドバイザー(英語活動指導助手)」として委嘱され、小中学校での英語授業などで支援を行っている(平成21(2009)年度は15名を委嘱)。夏休みには、学生団体による英会話サマーキャンプなども実施されており、子ども達は英語能力だけでなく、国際感覚も養うことができている。



### キャリア形成に対する支援 ～高等学校～

県内の高等学校との間でも、毎年、のべ40校程度と交流が実施されている。教員や学生が高校に出向いて模擬講義などを実施したり、高校生が大学を訪問しての英語研修が実施されており、進学や就職を控えた高校生にとっては、APUとの交流は、自身の進路決定の一助となっている。

### 県民への大学教育の開放 ～公開講座～



本県への大学誘致(新設)が決定して以来、県民への大学教育の開放を目的として『APU講座』が開講されている。地域づくりや環境問題、国際問題をはじめ、文化交流や言語など、県民の関心に応じた多彩なテーマが設定されており、これまでに通算80回を超える講座が開催され、延べ2,700名が聴講している。

## 住民との草の根交流の推進 ～ホームステイ交流や地域行事への参画～

住民レベルでも留学生を歓迎・交流しようと、お盆や正月などを中心に、県内各地でホームステイやホームビジット(日帰りなど短期間の交流)が行われており、参加者は年々増加している。

学生は、地域コミュニティと関わり、貢献することにも積極的な意欲を示している。別府市では、学生団体が、平成17(2005)年から市民参加型の祭り『泉都大祭』を新たに始め、市内各地域の連携を深め、郷土愛を育むきっかけにしようと努めている。



## 企業活動における貢献 ～貿易活動支援～

APUは、学生の半数を、様々な国や地域からの留学生とする計画としていたため、大分県では、平成13(2001)年度から、県内の留学生に企業の貿易活動を支援してもらう『国際貿易支援アシスタント活用事業』を開始した。



事業を利用した企業の中には、言語能力に加え、現地の商習慣も知悉した留学生の協力によって取引額が飛躍的に増大し、卒業後、その留学生を社員として採用した企業もある。

現在、この事業は、留学生の力を貿易にとどまらず、観光や教育、地域活動、ボランティアなど幅広い分野で生かせるよう、『アクティブネット』(おおいた留学生人材情報バンク)として、NPO法人『大学コンソーシアムおおいた』に継承されている。



## 2 経済効果

APUという大学自体や、学生・教職員などによって、大分県と別府市が受けている経済的な効果を推計した。

まず、APUが公表している財務資料や学生アンケート調査結果等により、APUの直接支出額や学生の消費額等を集計した。

集計にあたっては、留学生の家族や知人が海外から別府を訪問する人数など、数量的な把握が困難で、集計に含めることができなかった部分もある。このため、実際の効果はここで求められたものよりも大きいと思われる。

集計された支出額を基に別府市経済への効果を推計し、さらに産業連関表を用いて、その支出が県内の各産業の生産を喚起する経済波及効果を推計した。

### 別府市内における支出総額は年間120億円

APUの存在によって、別府市内では、毎年120.9億円の支出が直接発生している。その内訳と推計方法を説明する。

学生の支出	68.4億円	}	合計 120.9 億円
教職員の支出	18.8億円		
(APUの件費支払額は27.4億円)			
大学の直接支出	30.5億円		
来学者の支出	3.2億円		

### 学生の支出

APUが実施したアンケート調査から得られた、学生1人当たりの年間生活費と家賃をもとに算定すると、授業料等を除き、学生は1年間に68.4億円を支出する。

	ひと月当たり(円)		学 生 数 (人)	年間支出額 (百万円)
	生活費	家 賃		
国内学生	49,131	44,391	3,230	3,625
留 学 生	56,977	36,733	2,856	3,212
合 計			6,086	6,837

注. 授業料を含まない。学生数は平成21年11月1日現在

### 教職員の支出

APUでは、教職員の本俸や手当として平成20(2008)年度に27.4億円を支払っている。家計収入として受け取った教職員が、同年の平均消費性向(大分市0.684)に沿った消費行動をとったとすると、18.8億円を消費したものと推計される。

## 大学の直接支出

APUの財務データをもとに、平成20(2008)年度の支出額101億円から、人件費や減価償却費及び奨学金等を差し引いた、教育研究経費、管理経費、設備関係支出の中から、地元で支出した費用を集計すると、30.5億円が得られた。

## 来学者の支出

APUには、公式に受入れ者として記録されているだけでも、年間約2万人の来学者がある。このうち、外国人来学者(約2,000人)は別府市内に2泊し、国内他県からの来学者(約9,700人)は1泊すると仮定すると、別府市内で合計3.2億円が支出されていると推計される。なお、大分県内からの来学者(約8,000)人は、この推計には含めていない。

APUへの年間訪問者数と消費額

発地	訪問者数	宿泊日数(仮定)	延べ宿泊者数	推計消費額(百万円)
国内他県	9,712	1	9,712	227
外国	2,042	2	4,084	95
合計	11,754		13,796	322

注. 訪問者数(平成20(2008)年度)はAPU資料による

## 別府市内で直接発生する付加価値額は72億円

別府市内で発生する支出120.9億円が市内で生み出す、付加価値誘発額は、別府市内を対象とする産業連関表が作成されていないため推計することができない。

このため、前項で推計した支出が対象とする財貨・サービスのうち、市内での供給率が高いと思われるものについて、市内供給率を大まかに仮定し、さらに県平均の部門別付加価値率を適用して算定すると、APU関係の支出が市内で直接生み出す付加価値は48.7億円となる。これは主要な部門についての推計であり、また、原材料購入の連鎖を通じて他の分野の付加価値を喚起する波及効果は含まないので、実際の効果はより大きい額となる。

これにAPUが直接生み出す付加価値として、人件費や減価償却費等23.5億円を加えて得られる72.2億円が、APU関係の支出により別府市内で直接生み出される付加価値額である。

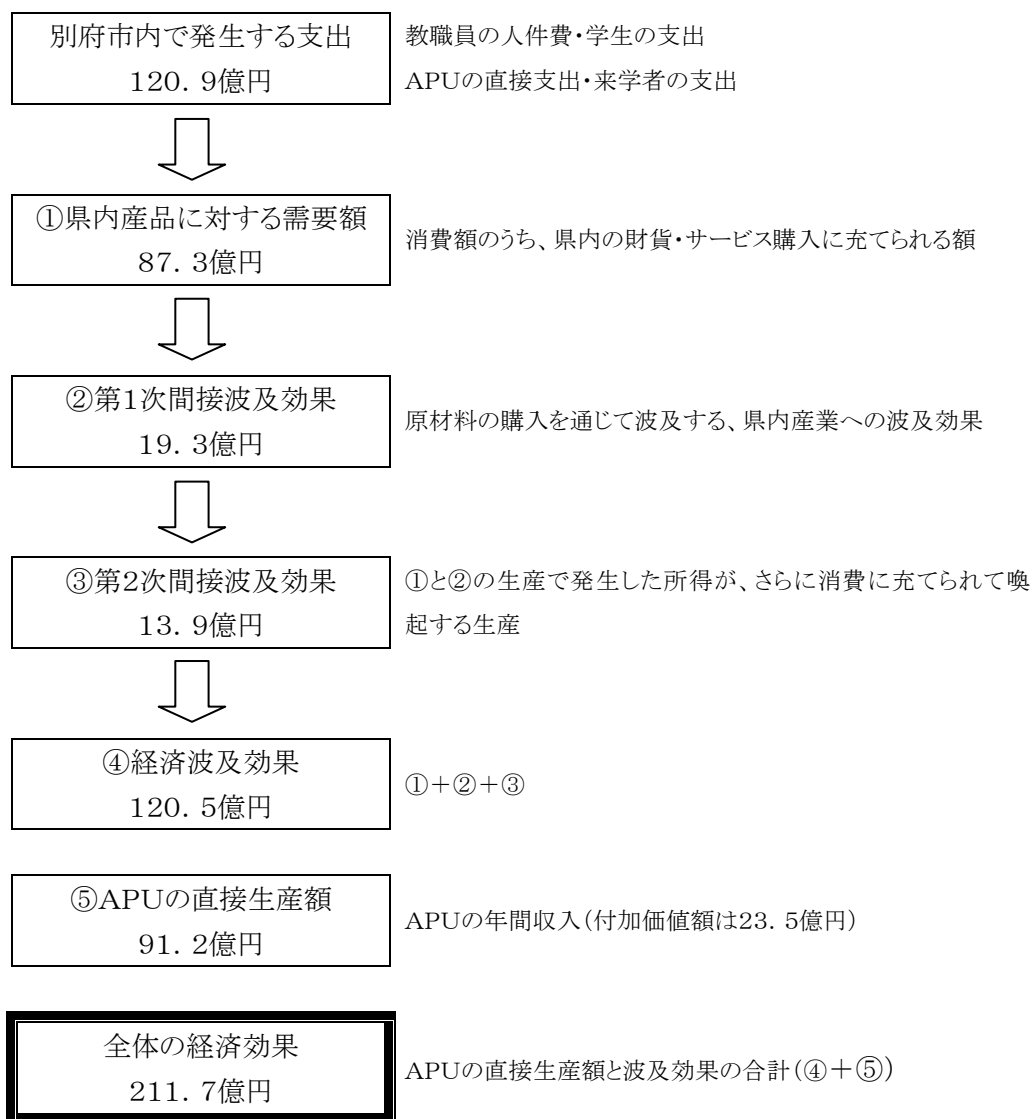
別府市の平成18(2006)年度の市内総生産3,565.5億円と比較すると、APU関係の直接付加価値額72.2億円は2.0%となり、APUは、別府市の経済規模を少なくとも2.0%押し上げているといえる。

APUおよび学生の支出 120.9億円 → 市内で生まれる付加価値額 48.7億円 (×推計市内供給率、×粗付加価値額)	}	72.2億円
APUの運営に含まれる付加価値額 23.5億円		

## APUの支出が大分県経済に及ぼす経済効果は 年間211億円

最終需要(この場合は消費)が、各産業分野の原料調達の間接を通して他の産業の生産を呼び起こす、経済波及効果の推計は産業連関表を用いて行う。

APUに関わる支出や消費が大分県経済に及ぼす影響について、大分県産業連関表(平成12年)により推計したところ、以下の結果が得られた。



付加価値誘発効果 106.9億円 (APU直接23.5億円、波及効果83.4億円)

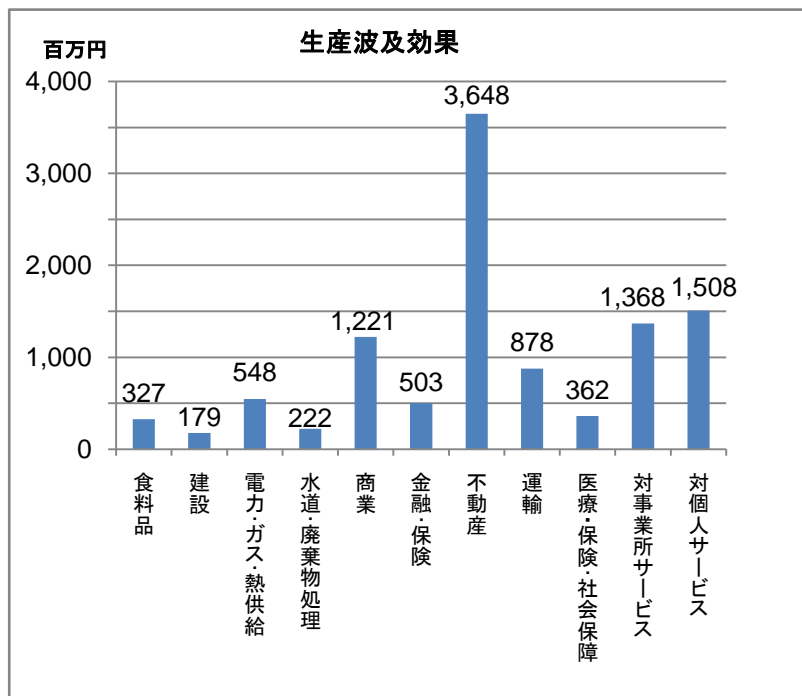
雇用誘発効果 1,358人 (APU直接雇用447人、波及効果911人)

別府市内で発生する支出120.9億円のうち、県内で生産される財貨やサービスの購入に向けられるのは87.3億円(部門毎に算定された県平均の県産品需要率で計算)で、これが原材料調達の産業連関を通して19.3億円の第1次間接波及効果をもたらす。原材料調達とは別に、直接効果と第1次間接波及効果の生産に伴って発生する、雇用者所得が一定の割合で消費に回るこ

とにより13.9億円の第2次間接波及効果が発生する。合計すると、別府市内で発生した県産品需要額87.3億円が120.5億円の県内生産をもたらす。これにAPUが直接生み出す生産額91.2億円を合わせると、211.7億円の生産が生まれるというのが、産業連関表で推計される経済波及効果である。

また、120.5億円の生産は、911人分の雇用に相当する28.8億円の雇用者所得を生み出す。APUの直接雇用447人と合わせると、県内で生み出された雇用は1,358人となる。

生産波及効果を産業別にみると、不動産業がもっとも大きく、約3分の1の36億円を占める。サービス業や商業への波及効果も大きく、食料品生産にも3億円余りの波及がある。



## 経済効果の具体例

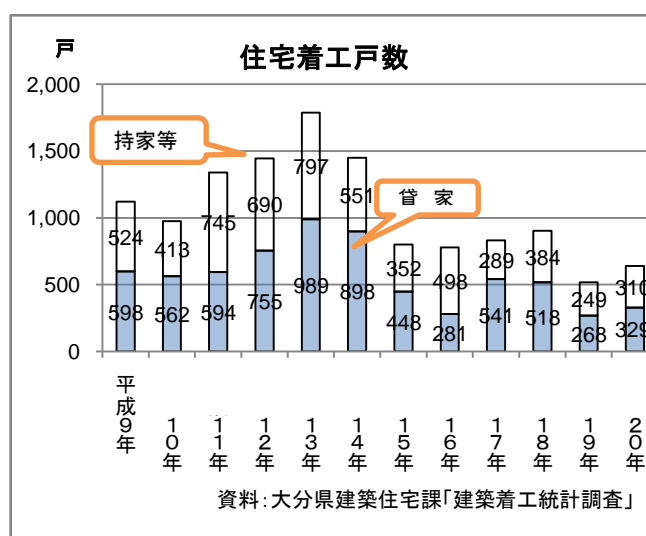
### 貸家の増加

産業連関表を用いた分析で、不動産業への生産波及効果が大きいことがわかったが、その一端は貸家建築の推移にも現れている。

APUの学生6,005名のうち、学生寮のAPハウス居住者1,300名と少数の自宅通学者を除いた、約4,500名が民間の貸家に住んでいると思われる。これに教職員の分が加わる。

平成20(2008)年住宅・土地統計調査では、別府市内の民間借家は21,450戸となっており、教職員を含めたAPU関係者の入居数を5,000と見積もれば、民間借家の4分の1を占めることになる。

多数の貸家需要に応えるため、

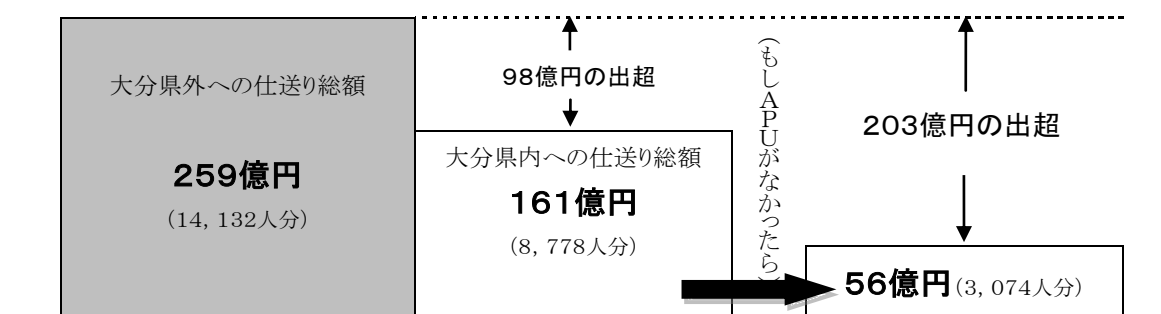


市内の貸家着工戸数は平成11年(1999)までの年間600戸弱から、平成12(2000)年755戸、13(2001)年989戸、14(2002)年898戸と、開学後3年間で大幅に増加した。

### 学資送金から見た県際収支 ～赤字額が縮小～

1人当たり183万円の仕送り額(平成18(2006)年度調査、全国平均)と学生数から、単純に試算をすると、大分県に住む家族が県外の大学生子弟に送金している学資は259億円と推計される(平成21(2009)年度)。反対に、県外の家族から県内大学で学ぶ子弟に送金されるのは161億円。学資の県際収支は差引98億円の出超となる。ここでもしAPUが大分県にないものと仮定すると、県外からの送金額は56億円で縮小し、県際収支の出超は203億円で拡大する。

地域経済への効果はこのような形でも現れている。

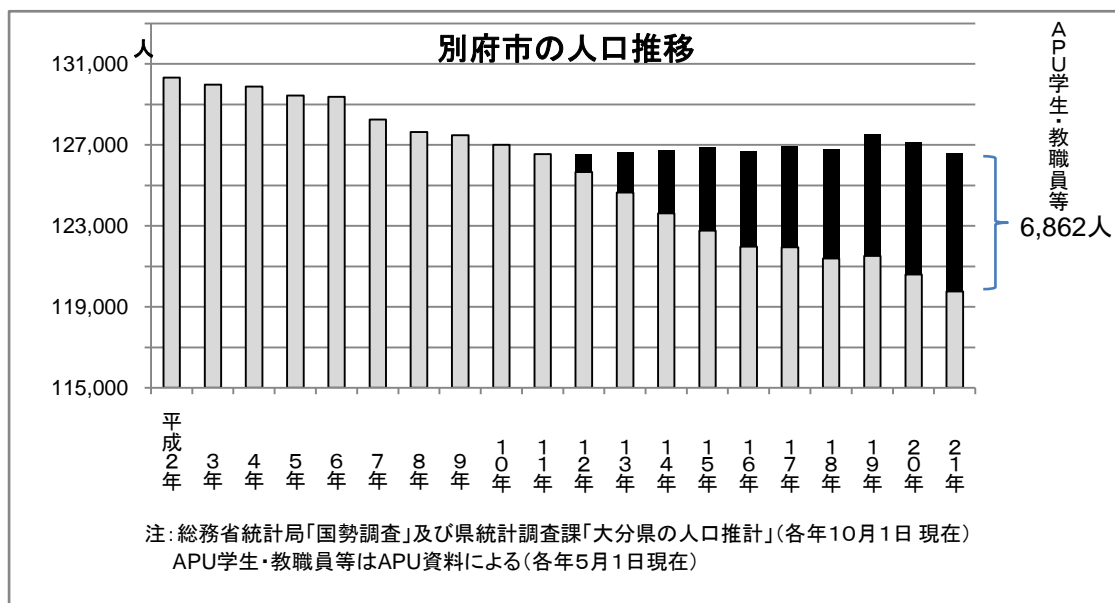


資料: 文部科学省「学校基本調査」および日本学生支援機構「学生生活費調査」  
(学部学生のみについて試算)

### 3 人口面での効果

#### 別府市の人口減少に歯止め

別府市の人口は、昭和55(1980)年の13万6千人台をピークとして減少が続いていたが、APUが開学した平成12(2000)年以降は、12万7千人前後の水準を維持し、持ち直しをみせている。APUの学生・教職員数の推移をグラフに当てはめると、人口減少を阻止している状況がよくわかる。



平成21(2009)年におけるAPUの関連人口は、学生・教職員の6,452人に、教職員の家族や生協、関連会社などの従業者を合わせると6,862人となり、別府市の総人口の5.4%を占めている。

これに学生と別府で暮らしている家族や、大学・学生の支出により成り立っている、不動産業・運輸業など諸々の産業活動に従事する人も加えれば、APUの関連人口が人口を支えている効果はグラフに現れたものよりもさらに大きいものと思われる。

APUの関連人口(平成21(2009)年) (人)

学 生(a)	6,005
教 職 員(b)	447
教職員の家族(c)	283
関連会社の従業員・家族(d)	127
合 計	6,862

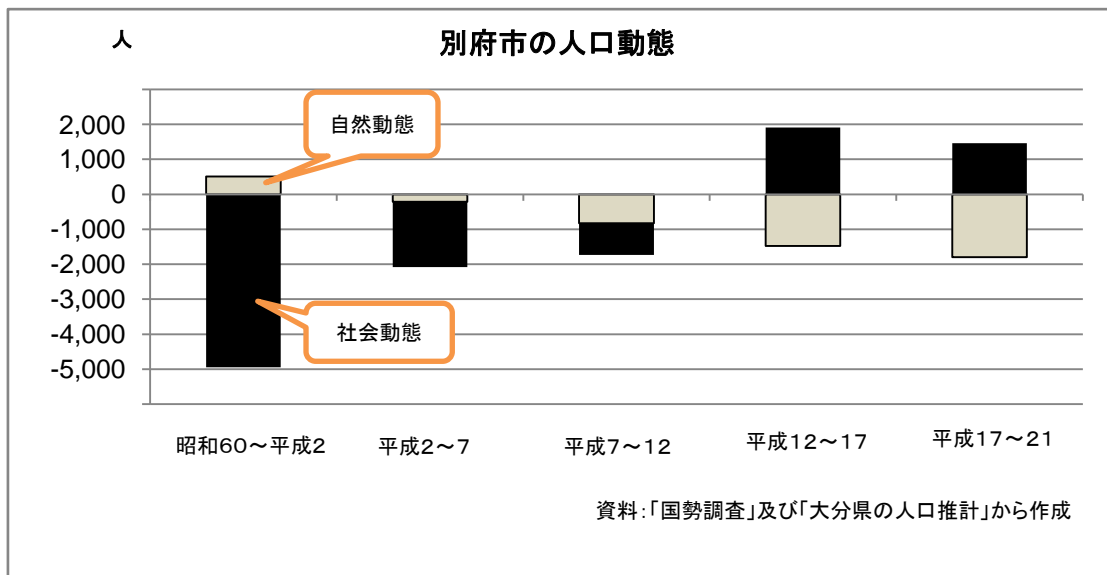
注. aおよびbは5月1日現在

cおよびdは年末調整資料による

関連会社には生協も含む

さらに、人口動態を見てみると、平成12(2000)年に社会動態がプラスに転じたことが、人口動向を変えるきっかけとなっていることもわかる。別府市では、社会動態の大幅減(転出者数が転入者数を上回る状態)が続いていたことに加え、平成2(1990)年頃からは自然動態も減少(死亡数が出生数を上回る状態)に転じていた。特に、自然動態の減少幅は、高齢化の進行とともに加速し

ているので、人口減少の足取りは、APUがなければ一層急激になっていたおそれもある。

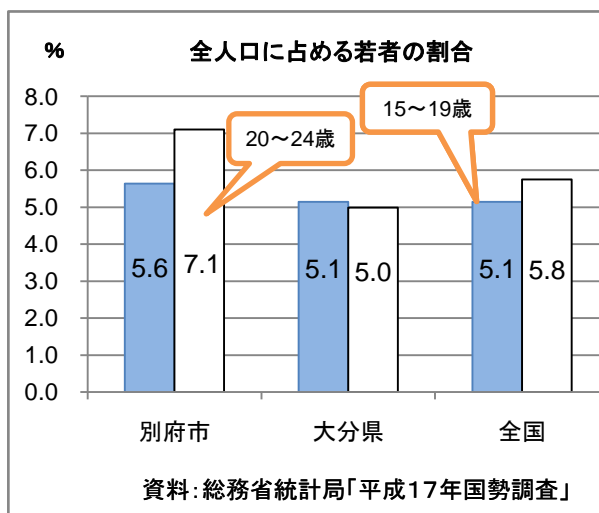


### 若者の街

今後、学生数の伸びが止まれば学生の転出入は均衡することになり、社会動態の好転要因としてのAPUの役割は見えなくなる。とはいうものの、人口の20分の1を超える若い集団の存在は、別府市の人口を支える一つの柱であり続ける。

別府市の人口について、年齢別の構成割合をみると、他市に比べ、若者の割合が高いこともわかる。

本県を含む地方県の大半で、高校卒業後の就職や進学に伴う転出超過により20代前半の人口が減少している中、APUの開学によって、若者の流入が増えた別府市では、20~24歳人口の構成比が7.1%と、全国平均(5.8%)を大きく上回っている。



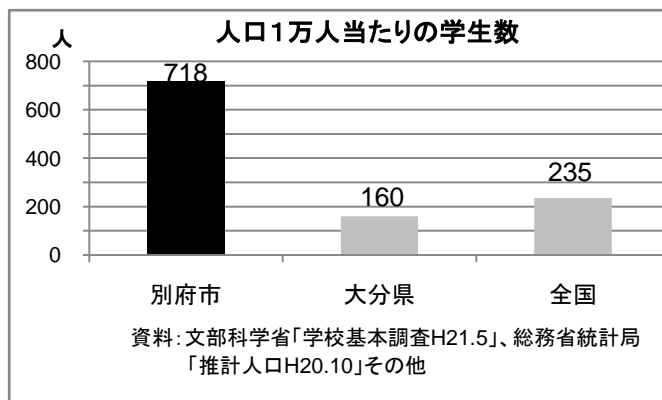
逆に、APUが存在しなかったものと想定すると、構成比は7.1%から4.3%にまで低下する(全学生の3分の2がこの年齢層として試算)。

## 『学園都市 別府』の実現

### 学生の人口比が突出

別府市には、2つの大学（APU、別府大学）と2つの短期大学（別府大学短期大学部、別府溝部学園短期大学）がある。これらの大学・短大で学ぶ学生は、合計で9,121人となっている。

人口1万人当たりの学生数で見ると、別府市は718人となり、市民14人に1人が学生という割合である。これは全国平均（235人、43人に学生1人の割合）の3.1倍、大分県平均（160人）の4.5倍と、人口に占める学生の割合が突出している。大学・短大生数からする別府市の学園都市度は極めて高い。

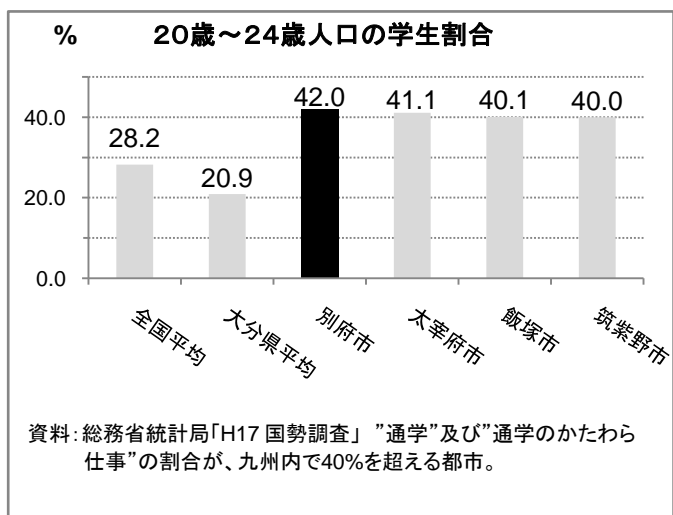


### 20歳代前半の学生が居住する割合は九州で最大

国勢調査のデータから、20～24歳人口に占める学生数を、居住地別に比較した。

平成17（2005）年の調査では、全国平均が28.2%であるのに対して、別府市は42.0%と突出している。九州には、40%を超える学生割合の高い都市が別府市以外に3市あるが（太宰府、飯塚、筑紫野の各市）、いずれも別府市を下回っている。

調査から5年あまりが経過する間、別府市では、学生の転入などによる社会増が自然減を補ってきていることから、学生の割合は、現在ではさらに高くなっていると思われる。この点で、別府市には学生都市としての性格が新たに変わったとも言える。

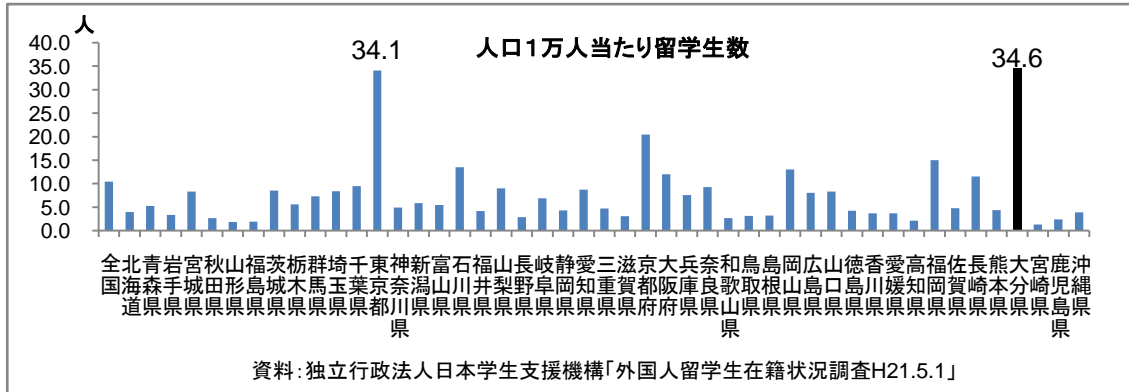


### 人口当たりの留学生数は大分県が日本一

平成21（2009）年5月1日現在で、大分県内の外国人留学生は、APUの2,786人を含め4,147人となっている。人口1万人当たりの留学生数を、都道府県別で比較すると、大分県



(34.6人)は、全国平均(10.4人)はもとより、東京都(34.1人)をも超えて全国一となっている。

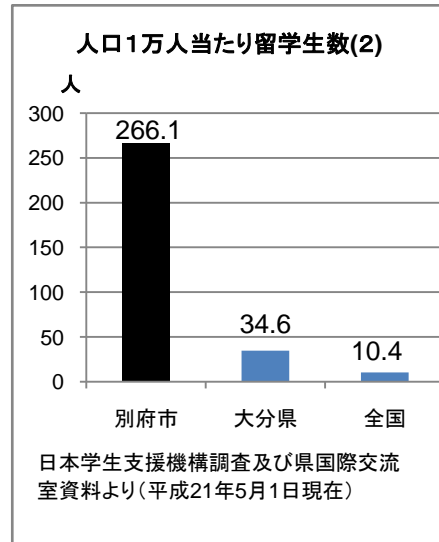


### 別府市の国際化に拍車 ～人口当たりの留学生数は全国平均の26倍～

別府市内の4つの大学・短大には、合計で3,384人の留学生が在籍している。実に86%もの県内留学生が別府市に集中している(平成21(2009)年5月1日現在)。

これを人口1万人当たりで見ると266.1人となり、留学生数で日本一となっている大分県(34.6人)の更に8倍、全国平均(10.6人)の26倍にまで達する。

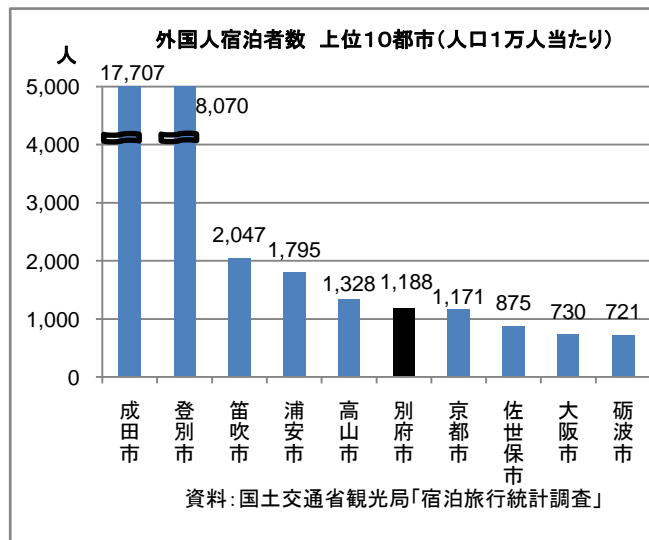
県内でAPUに次いで留学生が多い大学は、別府大学(及び同短期大学部)の603人であり、別府市に留学生が多いことは、同大学(及び短期大学部)の存在にも負っている。別府市は、『留学生の街』としての側面も有するに至っている。



### 『国際観光温泉文化都市 別府』の進展

別府市は、国内他市に先駆けて、昭和25(1950)年に国際観光温泉文化都市に指定されている。温泉を始めとする豊富な観光資源を積極的に活用しながら、日本人観光客はもとより、多くの外国人観光客誘致に努めている。

平成21(2009)年7月～9月の外国人宿泊者について、人口1万人当たりの宿泊者数を、人口5万人以上の都市の中で比較してみると、別府市は6番目



に多い状況になっている。

総数では、当然のことながら、大阪市や名古屋市などの大都市が上位を占めているが、それでも那覇市や金沢市に続いて、別府市は18番目に多い。

これら宿泊者の中には、APUが関与する学術会議への参加者や、学生を訪ねる家族なども含まれており、APUは、別府市の国際性の向上に大きな役割を果たしている。

平成21年7～9月の外国人宿泊者数

(単位:人)

順位	都市名	実宿泊数	人口1万人当たり	順位	都市名	実宿泊数	人口1万人当たり
1	成田市	225,334	17,707	11	函館市	22,622	794
2	大阪市	194,369	730	12	佐世保市	22,030	875
3	札幌市	144,666	766	13	千葉市	19,938	209
4	京都市	81,640	1,171	14	広島市	19,543	167
5	名古屋市	58,172	258	15	浜松市	18,412	227
6	福岡市	47,009	325	16	那覇市	15,451	491
7	登別市	42,571	8,070	17	金沢市	15,219	333
8	横浜市	39,356	107	18	<b>別府市</b>	<b>14,998</b>	<b>1,188</b>
9	神戸市	33,661	219	19	豊橋市	13,671	362
10	浦安市	29,430	1,795	20	仙台市	12,839	124

資料:国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」 ※東京都区部及び人口5万人未満の都市を除く

### 県内外との活発な交流

APUには、キャンパス見学や国際会議等で国内外から多くの人を訪れており、その数は年間約2万人に及ぶ。観光客数に比べれば少ない数ではあるが、多数の来学者との交流を通じて、APUは新しい別府のイメージを発信することにも貢献している。

また、県内からの訪問者には、小学校の社会見学、生涯学習グループ、商工会などの団体も含まれている。APUが、幅広い層の県民の、『国際的』なものに接したいという期待に応えている様子を伺い知ることができる。

APUへの年間訪問者 (単位:人)

訪問目的	訪問者数	国籍等	訪問者数
国際会議 (平成20(2008)年度)	450	県内	7,782
中高生見学者 (平成21(2009)年度)	5,818	県外	9,712
その他の見学者 (平成20(2008)年度)	10,094	外国	2,042
入学式に参加した家族等 (平成21(2009)年)	3,174	(合計)	(19,536)
(合計)	(19,536)		

### 第3章 APUに対する県民意識調査

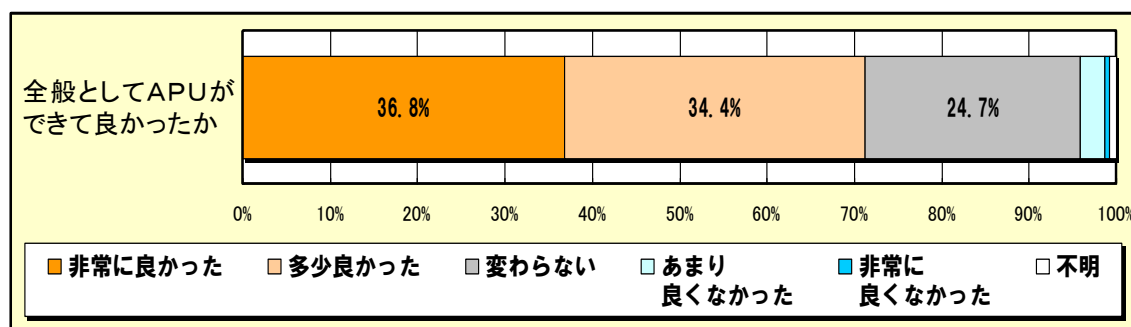
本県の国際化や活性化などの面でAPUがもたらした効果について、県民の意見を直接聞くため、アンケート及びヒアリング調査を行った。

アンケート調査では、サンプル総数2,686のうち、市民や自治委員、事業所など別府市内の関係者が95%を占めている。

#### 1 アンケート調査の結果

##### ア 全体評価

「全般としてAPUができて良かったか」との質問に対しては、「非常に良かった」が36.8%、「多少良かった」も34.4%となっており、7割を超える回答がAPUの開学を肯定的に評価している。



##### イ 個別評価

「APUは別府の国際化に寄与したか」については、「非常に寄与した」が42.3%、「多少寄与した」も42.8%と、実に8割以上が高く評価している。

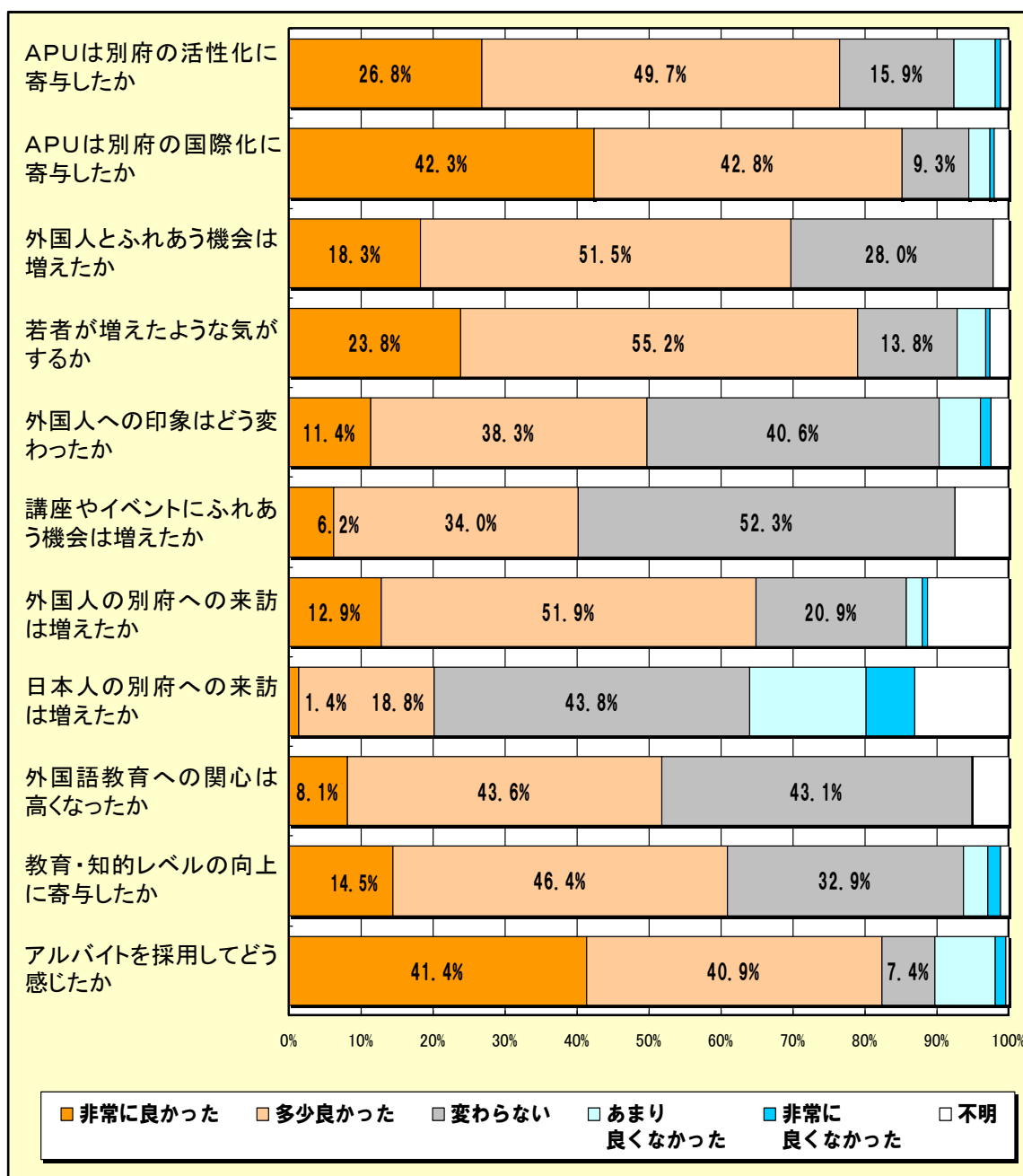
また、「APUは別府の活性化に寄与したか」という質問でも、「非常に寄与した」(26.8%)、「多少寄与した」(49.7%)となっている。APUの学生が、別府市内の祭りや地域行事に運営・参加しているケースも多く、その貢献度が評価されている。

「若者の増加」に関する質問では、8割近くが増えたと答え、「外国人とふれあう機会」についても7割が増えたとしている。これらの評価が、前項の全般としての肯定的な評価につながっているものと思われる。

また、「外国人の別府への来訪は増えたか」という質問では、51.9%が「多少増えた」と回答しており、特に宿泊業で、「親族や友人・知人が、留学生に会うために別府を訪問するケースが増えた」という回答記述も見られた。

一方、「公開講座などの教育・文化的イベントにふれあう機会は増えたか」という質問には、

「変わらない」との回答が過半数を占めている。また、「外国語教育への関心が高まっているか」に対しても、4割強が「変わらない」とし、「APUが別府の教育・知的レベルの向上に寄与したか」についても、3分の1が「どちらともいえない」としている。今後、これらの点の改善に向け、別府市民や大分県民に向けた、一層の情報発信なども求められている。



## ウ 評点評価

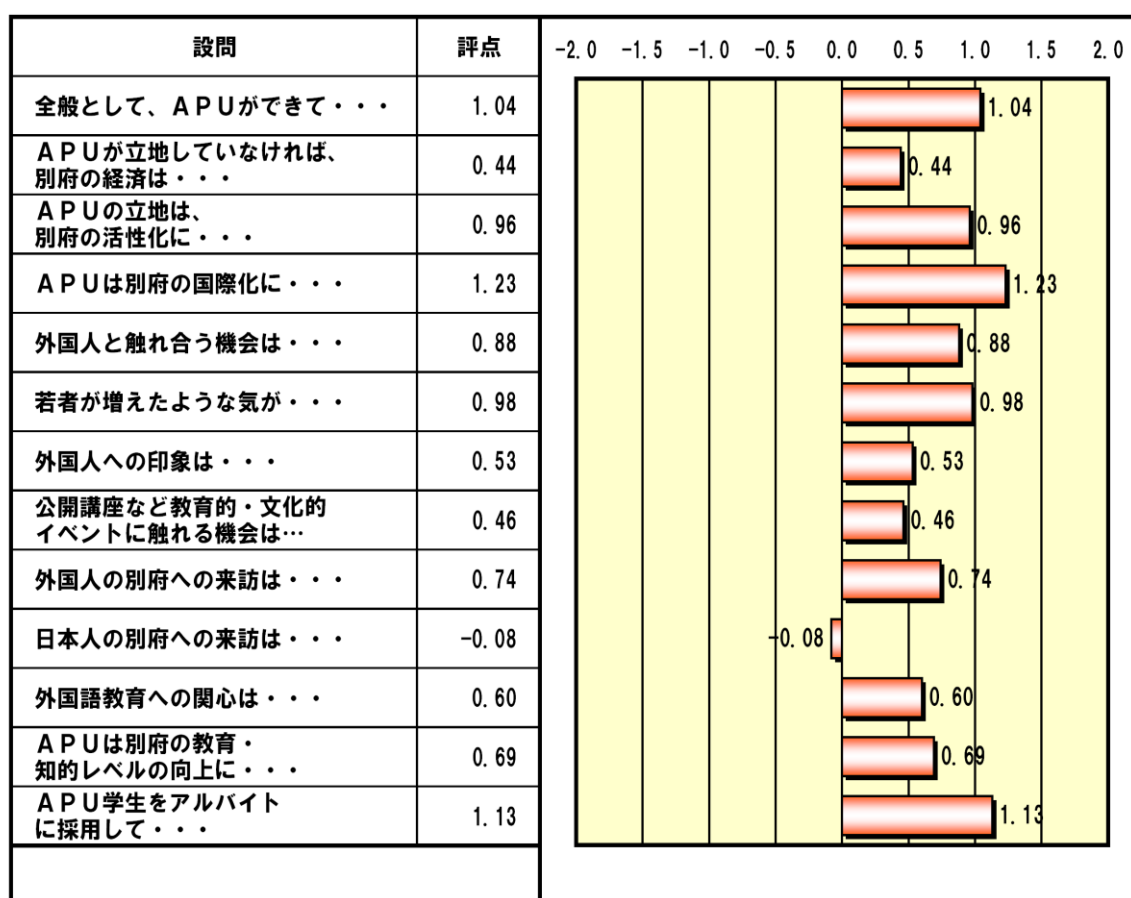
それぞれの設問に対して、「非常に良かった」に+2点、「多少良かった」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「あまり良くなかった」に-1点、「非常に良くなかった」に-2点の評価点数を割り当て、相対的評価度を数値化したのが下表である。

「APUの設立により別府への日本人の来訪が増えたか」という質問以外はすべてプラスの評価となっており、全般でAPUの設立が前向きに評価されていることがわかる。

特に、「APUは別府の国際化に(寄与したか)」が2点満点中1.23点と、最も高い評点となり、次いで「APU学生をアルバイトに採用して(役に立ったか)」(1.13点)、「全般としてAPUができて(良かったか)」(1.04点)の順となっている。

なお、「APUが立地していなければ別府の経済は今よりも(悪化していたか)」は0.44点と比較的低い評点になっているが、これは設問と回答の記述が曖昧となり、質問の趣旨が正しく伝わらなかったことによるものと思われる。

設問毎の評点一覧表



## 2 ヒアリング調査結果

交流活動や学生アルバイトの採用など、日頃からAPUや学生と接点のある方々に、その関わりから良かった点や悪かった点、さらには、今後期待する事などについて聞き取りを行なった。

	自治体・教育関係者(高校・小学校・地域)	アルバイト先事業所
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営スタッフとして公民館活動や地域行事などに加わり、地域に溶け込もうとする姿勢が素晴らしい。(公民館)</li> <li>・ALTとして小中学校の英語教育や国際理解教育の推進に貢献している。(自治体)</li> <li>・まちづくりについて、客観的な視点から多くの提案をしてもらった。(自治体)</li> <li>・市の観光イベントやお祭りに学生が協力してくれ、大いに盛り上がった。(自治体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしい学生に恵まれ続けており、子どもや保護者にも喜ばれている。(英会話教室)</li> <li>・アルバイトの採用対象が増えたことで、理想の人材を採用しやすい。(レジャー施設)</li> </ul>
悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携や教育関係で交流したいと思ったが、どんなプログラムが利用できるのかがよく分からなかった。(自治体)</li> <li>・公開講座が、座学形式のため一方性になりがちで、コミュニケーション能力の向上が図れなかった。(高校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間や勤労に関する価値観が違う場合も多く、指導が難しい学生もいる。(複数)</li> <li>・言葉の問題などにより、職種を限定せざるを得ない場合がある。(複数)</li> <li>・無断欠勤や貸与物品の無返却など多く、積極的な採用は控えている。(レジャー施設)</li> <li>・交通ルールの理解が不十分のため、交通事故が多い。(複数)</li> </ul>
今後、期待する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も多様な学生を受け入れ、大分の地から国際化を発信し続けてほしい。(複数)</li> <li>・学生や卒業生を通じて、積極的に大分の情報発信を行なってほしい。(複数)</li> <li>・世界各国に帰国した卒業生のネットワークを充実させ、自治体にも活用できる道筋を作って欲しい。(自治体)</li> <li>・小中学生のAPU訪問を積極的に行いたい。(自治体)</li> <li>・ふれあう交流から、地域発展につながる交流にステップアップできると良い。(自治体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業への就職、採用をもっと促進してほしい。優秀な人材が県内で就職できるような支援が必要。(複数)</li> <li>・日本の企業体質や文化、例えば「わびさび」の講座などを設けてはどうか。(農業)</li> </ul>

## 第4章 知事・学長対談『APU ～地域の活力、発展、国際化に期待～』



是永駿立命館アジア太平洋大学学長(左)・広瀬勝貞大分県知事(右)

### ◆国際大学APUの10年間の影響

**司会** 別府市にAPUが開学して10年が経ちました。知事として、APUができたことで大分県がどのように影響を受けたとお考えでしょうか。

**広瀬知事** もう10年になるのかなあとと思うと感慨深いですね。何ととっても、この10年はヒト・モノ・カネが国境を越え、自由に、頻りに動き回る、まさにグローバルな時代だったと言っていいと思います。そういう時代にAPUができたことで、大分県が世界の流れに遅れることなく、むしろ先頭をきって国際的に活動ができています。必要なセンスを育て、磨くことができた背景として、APUの存在は大きいと考えています。

こういう時代に大切なことは、まず己を知り、そして相手を知り、世の中には違う考え方の人がいるということを理解した上で行動することです。お互いの違いを理解した上で、良いものを作り出していく、そういうことが大切な時代だと思います。

本県にはAPUがあって、100カ国近い国や地域の人たちが集って学問をしている。これは国際化の感覚を実感する良い機会です。特に、語学教育の面では、大分県の子供も達は恵まれていると思います。語学の先生ならどこでも来てくれるというかもしれませんが、夏休みに、学生寮で合宿をして勉強させてもらうなど、非常に密度の濃い語学教育が受けられるというのも、APUのおかげ。そんなふうに国際感覚が享受できるということが、国際大学があるメリットです。

2つ目は、APUの学生は、せっかく日本、大分県に来たということで、いろんな地域の伝統行事や祭り等に出かけてくれます。時には神輿担ぎに参加するなど、見るだけではなく、一緒になって参加するというところまで入り込んでくれる。地域は、そういうことで元気や活力をもらっていると思っています。若い人の力をひしひしと感じますね。

3つ目は、『世界学生観光サミット』や『アジア・太平洋水サミット』などの国際会議がAPUの協力で開催されたことですね。専門的な国際会議を、地方で開催することはなかなか難しいんです。ハードがあっても、ソフトの面でできないことが多い。そういった面からも、APUの力、知的拠点としての力、あるいは学生が集まったの大学の力が必要ですね。もちろん、7,000人の人が暮らすという経済効果もあると思います。

## ◆日々、心の国境を越える大学

**司会** 是永学長は、これまでに、大阪外国語大学での学長経験もあると思います。そういうところから来られて、APUをどのような存在だと見ていらっしゃいますか。

**是永学長** 2007年10月まで大阪外国語大学の学長を務め、最後は大阪大学との統合に関わっていました。APUに赴任したのは2008年からですが、APUは日本の高等教育の国際化の先端、10年でよくこれだけのことができた、21世紀のミラクルのように思います。

APUには、現在、97カ国・地域から、2900名の国際学生がいます。同じキャンパスの中で学生たちは、眼に見えない『メンタルな国境』を越えないと交流することができません。こういった環境はあるようでないものです。それが4年間毎日、いろいろな国の学生と付き合わなければいけない異文化空間なのです。体験そのものが貴重だと思っています。

「異文化環境とは何ですか」と聞かれると、いろいろな考えがあると思いますが、私の考えは、自分の存在と全く違う他者がいることを理解、認識するということです。そのためには、まずは自分が何者かを考えなければいけません。他者理解と自分理解の繰り返しですが、それを一つのキャンパスでできるのです。

また、APUは大分県や県内の自治体、200を超える企業の方々から支援をいただいている大学です。大学が、自治体と経済界の両者から支援をもらっているということ自体がそもそも珍しいと思います。カセム前学長も言われていましたが、APUは『国際公共財』でもあるのです。

## ◆APUに期待する役割

**司会** 大分県が今後進める政策の中で、APUに果たしてほしい役割について広瀬知事に伺います。

**広瀬知事** APUはその名のとおり、アジア地域の学生が多く集まる大学で、そういう知の拠点が大分県にあるわけです。大学というものは、先覚的に課題を見つけ出し、それを研究するところです。今まさに、異文化交流だとか、地球環境などさまざまな課題があります。APUには、知の拠点として、これらの課題解決を担ってもらうことを期待しています。

もう一つは、これだけ多様な人が集まる、いわば『多国籍ワールド』があるわけで、我々も、その中で国際的なセンスや感覚を学んで行きたい。そういうこともぜひ発信してもらいたいと思います。

『大学コンソーシアムおおいた』ができ、そこで留学生の支援しようということになっています。大分の人たちは、留学生にこんな仕事をしてほしいとオファーする。同時に、留学生もこんな仕事ならで



広瀬 大分県知事



きる、応じられると、マッチングをしています。学生の皆さんには、通訳翻訳から国際関連の講座に協力してもらったり、あるいは地域活動など、いろんな活動実績ができてきています。これは国際的なセンスのある学生がたくさんいるからこそできるのです。

3つ目は、留学生に、大分県や別府の情報を母国に発信してもらいたいと考えています。大分での生活を実際に経験しているわけですから、実体験を発信することができます。特に、これからビジット・ジャパンなど、いろいろな交流もあるでしょう。その時に、日本とは、大分県とは、また、別府とは何だということが世界に発信できていれば、やっぱりものすごく違う。そういう発信機能にも期待しています。

先日、上海に行く機会がありました。その際、上海のAPU校友会にも参加しましたが、卒業生は、上海の大分県人会にも所属し、交流していることが分かりました。卒業した後も、彼らが県や別府を第2のふるさととして考えてもらえれば、様々なネットワークが形成され、彼ら自身のビジネスに活かしたり、また、彼らの力を大分県に還元してもらおうなど、双方向でいきいきと動いていくのではないかと期待しています。お互いのこれからの国際化を考えると、卒業後のネットワークというものには非常にありがたいし、本当にいろんな期待がもてます。

#### ◆地域との連携・協働

**司会** 今後、APUは地域の中で、どのような取組に力を入れようとお考えでしょうか。

**是永学長** これまでAPUは、大分県内から1,000名以上の高校生を受け入れ、県内企業には180名以上の就職実績があります。大分県や県内市町村との協定も締結しており、国際学生を「国際交流アドバイザー」として派遣させていただいたり、小中学校との交流事業や地元の祭りへの参加など、学生、教職員が地域の中に溶け込んでいます。地域から大勢の小中学生がキャンパスに来て、学生を取り囲んで交流している姿もよく見かけます。市民向けの公開講座やノーベル賞受賞者、著名人等による公開講演会なども多様に実施しています。

先ほど知事も言われたように、大学が、『知の拠点』としてどこに向おうとしているのか。APUは2011年にカリキュラムの改革を控えています。現在、国際経営学部（APM）とアジア太平洋学部（APS）の2学部があります。APMでは、経営学の国際機関認証（AACSB）の取得に向け、教員配置やカリキュラムの再編を行っています。APSは、社会学や国際関係論を基盤とした学問ですが、環境・開発、国際関係、文化・社会・メディア、観光学という4つのコースを設けることにしています。

地域の環境や開発、観光といったAPUの学問は、大分県や産業界とも協働できるものと期待しています。現在でも、杵築市とCO2排出量削減に向けた産学官協力パイロット事業や、宇佐市



是永 APU学長

安心院のぶどう農園では、カセム前学長が『気候変動がワインの味をどう変えるか』という研究、別府市の内成地区での『ホリデーハウスプロジェクト』など、自治体と協力して研究しています。

#### ◆留学生は『未来の架け橋』～学生達のパワーに期待～

司会 それでは最後に、今後のAPUやAPUの学生に対する、知事の期待をお聞かせください。

広瀬知事 私は常々、留学生は、国と国、地域と地域を結ぶ、未来の架け橋だと言っています。学生が、日本に来てよかった、大分に来てよかったと思うように、我々自身も応援していかなければいけません。国際化が進むと、国と国との関係も大切だと思いますが、それを裏打ちする、地域と地域、人と人との関係が良好でないと、国際関係は安定的には進まないと思います。情報化やグローバリゼーションが進めば進むほど、それは一層大切になってくるでしょう。

また、地域との関わりの中で研究成果も還元していただきたいですし、地域の情報を発信し、活用してもらいたいと思います。地域の国際化、発展、活力という面から期待しています。

APUの卒業式で、学生が“We can do it!”とコールしていたのが、とても印象に残っています。将来ある若者たちは、きっと、様々な世界の課題や大分県の課題について取り組んでくれるでしょう。そういう彼らの活動や可能性、力が育つような大学が、あるとないとは大きく違ってくると思います。



#### ◆APUを『21世紀の咸宜園』に

司会 是永学長には、今後に向けた抱負、決意をお願いします。

是永学長 アジアを中心に、世界各国・地域からの学生を受け入れ、人材を育てるAPUは、『21世紀の咸宜園』になる可能性があると思います。これまでの10年を礎に、国際公共財としてさらに成長させ、世界中のネットワーク、国際交流、人と人との絆を一層深めていきたいと思っています。

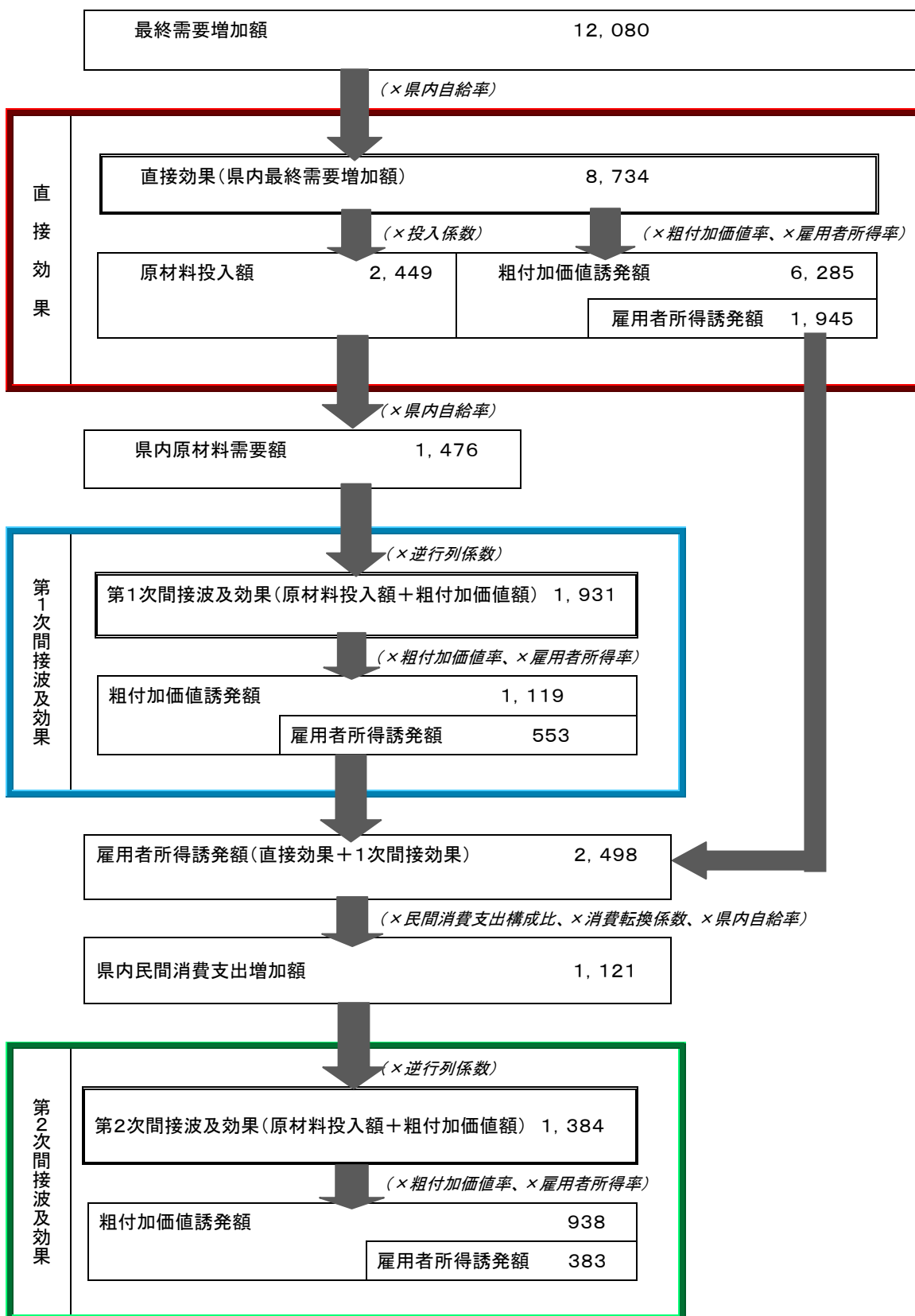
司会 どうもありがとうございました。

(平成22年2月 大分全日空ホテルにおいて)

## 参 考 资 料

経済波及効果のフローチャート

(単位：百万円)



## 経済波及効果

立命館アジア太平洋大学 (APU) が地域社会に及ぼしている経済波及効果を推計した。  
結果の概要は次のとおりである。

- ・経済波及効果は総額で 120.5 億円である。
- ・経済波及効果のうち、付加価値誘発額は 83.4 億円となり、県内総生産 (名目) の 0.19% に相当する。
- ・雇用者所得誘発額は 28.8 億円であり、911 人の雇用を支えている。

### 1 消費額の推計

消費額は、(1) 学生、(2) 教職員、(3) 大学、(4) 大学への来学者に区分して推計する。用いるデータは入手できる直近のものとする。

#### (1) 学生の消費額 【 68.4 億円 】

学生数に 1 人当たりの生活費及び家賃を乗じて推計する。  
学生は学部学生及び大学院学生とする (表 1)。

表 1 学生数 (人)

	学部生	大学院生	計
国内学生	3,214	16	3,230
留学生	2,550	306	2,856
計	5,764	322	6,086

大学ホームページによる 2009 年 11 月 1 日現在

APU 学生生活アンケートにより、学生 1 人当たりの生活費及び家賃を国内学生、留学生に区分して表 2 のとおり推計する。

表 2 一人当たり生活費及び家賃 (月額・円)

	生活費	家賃	計
国内学生	49,131	44,391	93,522
留学生	56,977	36,733	93,710

APU 学生生活アンケートによる 2009 年

生活費、家賃を消費項目別に推計して学生数を乗じ、産業連関表の部門に振り分ける (表 3)。

国内学生の消費額の分割指標として独立行政法人日本学生支援機構の平成 18 年度学生生活調査結果「1 表 居住形態別収入平均額及び学生生活費の内訳」を、留学生は同機構の平成 19 年度私費留学生実態調査「第 7-3 表 項目別平均月支出額」及び「第 7-4 表 学習研究費の内訳」を用いる。

表3 学生の項目別消費額及び産業連関表の部門対応 (百万円)

	国内 学部生	国内 大学院生	留学生	計	産業連関表の対応部門
学習研究費					
教科書、実収材料、文房具等	126	1	202	329	その他の工業製造製品
サークル活動、合宿	110	0	121	231	対個人サービス
通学費	195	1	201	397	運輸
食費	464	3	627	1,094	食料品
家賃	1,712	9	1,259	2,980	不動産
光熱水費				0	
電気、ガス	184	1	163	348	電気・ガス・熱供給
水道	42	0	37	79	水道・廃棄物処理
保険、医療費	110	1	75	186	医療・保健・社会保障
趣味、娯楽費	342	2	226	570	対個人サービス
その他の日常的な経費	321	2	301	624	対個人サービス
計	3,606	20	3,212	6,838	

## (2)教職員の消費額【人件費 18.8 億円】

教職員の消費額は、大学経費の人件費をもとに推計する。

大学の財務諸表より本務教職員の本俸、期末手当及びその他の手当、兼務教職員の該当分を推計した支出(2,741 百万円)を教職員の収入額とする。

これが家計消費に支出されることから、平成 20 年家計調査の平均消費性向(大分市)0.684 を乗じて推計した県内消費支出額(1,875 百万円)を産業連関表の家計消費支出をベンチマークとして部門に振り分ける(表 4)。

表4 教職員の部門別消費額

(百万円)

部門	消費額	部門	消費額
農業	27	その他の製造工業製品	47
林業	2	建設	0
漁業	3	電力・ガス・熱供給	33
鉱業	0	水道・廃棄物処理	15
食料品	222	商業	345
繊維製品	39	金融・保険	71
パルプ・紙・木製品	6	不動産	309
化学製品	22	運輸	74
石油・石炭製品	33	通信・放送	64
窯業・土石製品	4	公務	9
鉄鋼	0	教育・研究	43
非鉄金属	1	医療・保健・社会保障	89
金属製品	3	その他の公共サービス	27
一般機械	0	対事業所サービス	31
電気機械	48	対個人サービス	262
輸送機械	37	事務用品	0
精密機械	9	分類不明	0
		計	1,875

大学の財務諸表より推計 2008年度

## (3)大学の消費額【 30.5 億円 】

大学の支出総額から人件費、所定支払金を除いたものを大学の教育・研究活動に必要な経費とし、財務諸表より推計した消費支出額を産業連関表の部門に振り分ける(表5)。

表5 大学の部門別消費額 (百万円)

部門	消費額	部門	消費額
農業	0	その他の製造工業製品	552
林業	0	建設	34
漁業	0	電力・ガス・熱供給	93
鉱業	0	水道・廃棄物処理	109
食料品	2	商業	3
繊維製品	0	金融・保険	17
パルプ・紙・木製品	0	不動産	14
化学製品	0	運輸	239
石油・石炭製品	0	通信・放送	63
窯業・土石製品	0	公務	0
鉄鋼	0	教育・研究	106
非鉄金属	0	医療・保健・社会保障	1
金属製品	0	その他の公共サービス	0
一般機械	5	対事業所サービス	1,796
電気機械	0	対個人サービス	11
輸送機械	0	事務用品	0
精密機械	0	分類不明	0
		計	3,045

大学の財務諸表より推計 2008年度

#### (4) 大学への来学者の消費額 【 3.2 億円 】

大学は県内外、国内外から小・中学生、高校生だけでなく、PTA、老人会、社会福祉協議会など多くの来学者を迎えている。来学には日帰り、宿泊があり、食費、交通費、土産費などの消費を伴うことが考えられるが、ここでは大分県内で宿泊した者が支出した経費を消費額として計上する。

推計方法は宿泊者数に、1人1回当たり宿泊単価を乗じて計算する。

来学者数を大学資料により集計する(表6)。

表6 大学への来学者数 (人)

所在	来学者数	宿泊数	推計宿泊者数
大分県内	7,782	0	—
大分県以外の国内	9,712	1	9,712
外国	2,042	2	4,084
計	19,536		13,796

大学調査による 2008年度



来学者数は大学資料により、大分県、大分県以外の国内、外国からの来学者に区分して集計する。また大分県内での宿泊数を表のように仮定し、2008年度の宿泊者数を13,796人と推計する。

宿泊単価は観光庁の旅行・観光の経済効果に関する調査研究区(2008年度)の「表-3 宿泊旅行(国内)出張・業務旅行」を用いて算出する。旅行単価は47,157円、平均泊数は2.02泊であり、1人1回当たり宿泊単価を23,345円と推計する。

以上から大学への来学者の消費額を次のとおり推計し、平成12年大分県産業連関表(34部門表)(以下「産業連関表」という。)の「対個人サービス」に分類する。

$$23,345 \text{ 円} \times 13,796 \text{ 人} = 322 \text{ 百万円}$$

(5)消費額の集計【 119.5 億円 】

(1)から(4)により、学生、教職員、大学、来学者の消費額を集計する(表7)。

表7 消費額集計 (百万円)

部門	学生	教職員	大学	来学者	計
1 農業	0	27	0	0	27
2 林業	0	2	0	0	2
3 漁業	0	3	0	0	3
4 鉱業	0	0	0	0	0
5 食料品	1,094	222	2	0	1,318
6 繊維製品	0	39	0	0	39
7 パルプ・紙・木製品	0	6	0	0	6
8 化学製品	0	22	0	0	22
9 石油・石炭製品	0	33	0	0	33
10 窯業・土石製品	0	4	0	0	4
11 鉄鋼	0	0	0	0	0
12 非鉄金属	0	1	0	0	1
13 金属製品	0	3	0	0	3
14 一般機械	0	0	5	0	5
15 電気機械	0	48	0	0	48
16 輸送機械	0	37	0	0	37
17 精密機械	0	9	0	0	9
18 その他の製造工業製品	329	47	552	0	928
19 建設	0	0	34	0	34
20 電力・ガス・熱供給	348	33	93	0	474
21 水道・廃棄物処理	79	15	109	0	203
22 商業	0	345	3	0	348
23 金融・保険	0	71	17	0	88
24 不動産	2,980	309	14	0	3,303
25 運輸	397	74	239	0	710
26 通信・放送	0	64	63	0	127
27 公務	0	9	0	0	9
28 教育・研究	0	43	106	0	149
29 医療・保健・社会保障	186	89	1	0	276
30 その他の公共サービス	0	27	0	0	27
31 対事業所サービス	0	31	1,796	0	1,827
32 対個人サービス	1,425	262	11	322	2,020
33 事務用品	0	0	0	0	0
34 分類不明	0	0	0	0	0
計	6,838	1,875	3,045	322	12,080

また、別府市内で直接生み出される付加価値を推計する(表 8)。

表8 別府市内で直接生み出される付加価値 (百万円)

部門	消費額					推計 消費率	推計 消費額	粗付加価値	
	学生	教職員	大学	訪問者	計			率	額
20 電力・ガス・熱供給	348	33	93	0	474	0.5	237	0.5127	122
21 水道・廃棄物処理	79	15	109	0	203	1.0	203	0.7166	145
22 商業	0	345	3	0	348	0.5	174	0.7387	129
24 不動産	2,980	309	14	0	3,303	1.0	3,303	0.9018	2,979
25 運輸	397	74	239	0	710	0.5	355	0.4860	173
29 医療・保健・社会保障	186	89	1	0	276	0.5	138	0.6188	85
32 対個人サービス	1,425	262	11	322	2,020	1.0	2,020	0.6119	1,236
大学の粗付加価値								2,354	
雇用者所得(人件費=教職員の消費額)								1,875	
資本減耗引当								1,096	
間接税(除関税)								13	
(控除) 経常補助金								-630	
計								7,222	

## 2 産業連関表を用いた経済波及効果の推計

### (1) 推計方法

1で推計した消費額を産業連関表を用いて経済波及効果を推計する。推計には大分県庁ホームページに掲載されている「平成12年大分県産業連関表 経済波及効果分析ツール」を使用し、平均消費性向を平成20年家計調査(大分市)により、0.684とする。

### (2) 推計結果

産業連関分析を行った結果は表9のとおりである。平成21年度の立命館アジア太平洋大学の県内への経済波及効果は120億49百万円、県内需要額に対する波及倍率は1.4倍と推計される。

その内訳は、直接効果(県内に直接発生した需要額)が87億34百万円、第1次間接波及効果(原材料の需要による生産誘発額)が19億31百万円、第2次間接波及効果(直接効果と第1次間接波及効果によって誘発された生産活動によって雇用者所得が増加し、これが消費にまわることによって誘発される生産額)が13億84百万円である。

この経済波及効果は県民経済計算における産出額に対応し、平成19年度の産出額9兆8,273億46百万円の約0.12%を占めている。

また、県内の産業が生産の過程で生み出す付加価値の総額である粗付加価値誘発額は83億43百万円と推計される。これは県民経済計算における総生産(名目)に近い概念であり、平成19年度の県内総生産(名目)4兆4,746億15百万円の約0.19%を占めている。

雇用者所得誘発額は28億81百万円であり、産業連関表の雇用係数をもとに推計した従業者の誘発人数は911人となる。

表9 経済波及効果の推計結果 (百万円、倍)

区分	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額
総合効果	12,049	8,343	2,881
直接効果(県内需要額)	8,734	6,285	1,945
第1次間接波及効果	1,931	1,119	553
第2次間接波及効果	1,384	938	383
県内需要額に対する波及倍率	1.4		

### (3) 部門別経済波及効果

推計した経済波及効果を部門別に集計したものを表10、グラフ化したものを図1に示す。「不動産」部門への波及効果が大きく、全体の30.3%を占める。次いで「対個人サービス」(12.5%)、「対事業所サービス」(11.4%)、「商業」(10.1%)が続く。

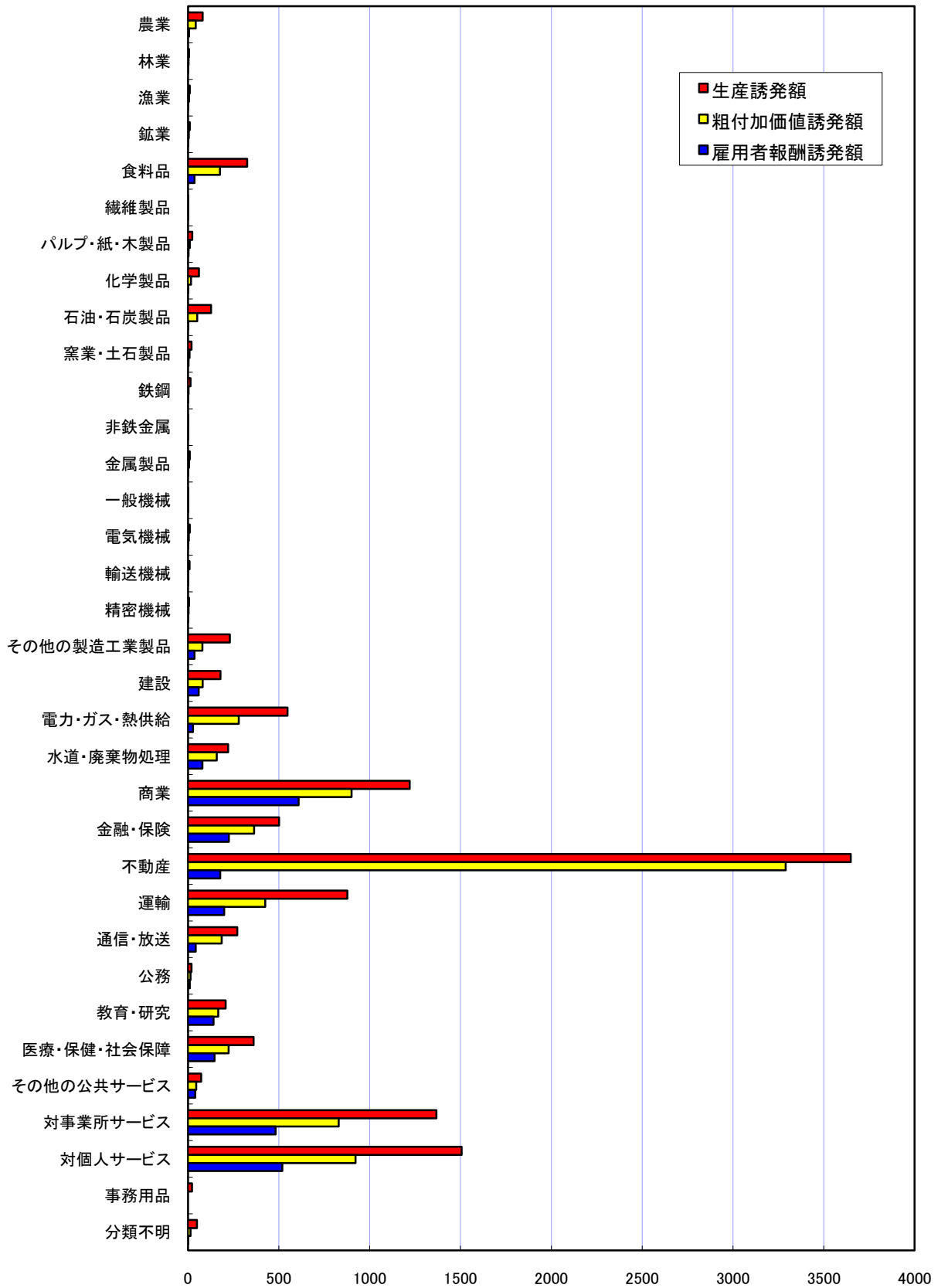
第10表 立命館アジア太平洋大学の経済波及効果推計表

(百万円、人)

部門	直接効果(県内需要額)			第1次間接波及効果			第2次間接波及効果			総合効果			雇用効果
	生産額	粗付加価値		生産額	粗付加価値		生産額	粗付加価値		生産額	粗付加価値		従業者数
		雇用者所得	雇用者所得		雇用者所得	雇用者所得		雇用者所得					
01 農業	10	5	1	45	24	4	27	14	2	82	43	7	27
02 林業	1	0	0	4	2	0	2	1	0	6	4	1	0
03 漁業	1	1	0	8	5	2	3	2	1	11	7	3	1
04 鉱業	0	0	0	9	5	1	1	1	0	11	5	2	0
05 食料品	219	118	25	47	26	5	61	33	7	327	177	37	9
06 繊維製品	1	0	0	1	0	0	2	1	0	3	1	1	0
07 パルプ・紙・木製品	1	0	0	20	8	4	5	2	1	25	10	5	1
08 化学製品	4	1	0	40	11	2	17	5	1	62	17	3	0
09 石油・石炭製品	10	4	0	93	38	2	24	10	0	127	52	2	0
10 窯業・土石製品	1	1	0	15	7	2	4	2	1	21	9	3	0
11 鉄鋼	0	0	0	13	3	1	2	0	0	14	3	1	0
12 非鉄金属	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0
13 金属製品	0	0	0	9	5	2	2	1	0	11	6	3	0
14 一般機械	0	0	0	2	1	1	0	0	0	3	1	1	0
15 電気機械	3	1	0	3	1	0	5	2	0	11	5	1	0
16 輸送機械	2	0	0	5	1	1	3	1	0	9	3	1	0
17 精密機械	2	1	0	2	1	0	3	2	0	6	5	0	0
18 その他の製造工業製品	151	52	24	59	20	9	22	7	3	231	80	37	10
19 建設	34	15	11	133	60	44	13	6	4	179	81	59	16
20 電力・ガス・熱供給	474	243	25	38	19	2	37	19	2	548	281	29	2
21 水道・廃棄物処理	170	122	62	36	26	13	16	12	6	222	159	81	18
22 商業	849	627	424	156	115	78	216	160	108	1,221	902	610	246
23 金融・保険	81	59	36	326	237	147	96	70	43	503	365	226	34
24 不動産	3,303	2,979	161	56	50	3	290	261	14	3,648	3,290	178	50
25 運輸	574	279	131	224	109	51	80	39	18	878	427	201	39
26 通信・放送	102	70	16	105	72	17	64	44	10	272	186	43	6
27 公務	9	6	5	3	2	2	8	6	4	20	15	10	1
28 教育・研究	146	117	99	21	17	14	42	34	28	208	167	141	18
29 医療・保健・社会保障	275	170	112	5	3	2	82	51	34	362	224	148	38
30 その他の公共サービス	27	17	15	19	12	11	27	17	15	73	47	41	13
31 対事業所サービス	962	585	340	345	210	122	60	37	21	1,368	831	483	134
32 対個人サービス	1,322	809	455	26	16	9	160	98	55	1,508	922	519	248
33 事務用品	0	0	0	20	0	0	3	0	0	23	0	0	0
34 分類不明	0	0	0	44	13	2	6	2	0	50	15	3	0
計	8,734	6,285	1,945	1,931	1,119	553	1,384	938	383	12,049	8,343	2,881	911
APU	9,121	2,354	1,875							9,121	2,354	1,875	447
合計	17,855	8,639	3,820	1,931	1,119	553	1,384	938	383	21,170	10,697	4,756	1,358

産業連関分析、大学の財務諸表(2008年度)による

図1 部門別経済波及効果グラフ



## APUに対する県民意識調査

### アンケート調査

区分	対象者	発送数	回収数	回収率(%)
別府市	市民(20歳以上、無作為抽出)	198	79	39.9
	自治委員	144	114	79.2
	商工会議所会員	2,195	881	40.1
	小計	2,537	1,074	42.3
その他 地域	自治体	38	31	81.6
	商工団体	90	58	64.4
	商工会議所会員	21	4	19.0
	小計	149	93	62.4
合計		2,686	1,167	43.4

### ヒアリング調査

区分	対象者	件数
県内 全域	自治体関係者	7
	高校教育関係者	6
	教育関係者(小学校・地域)	6
	アルバイト先事業所	11
合計		30

### 調査期間

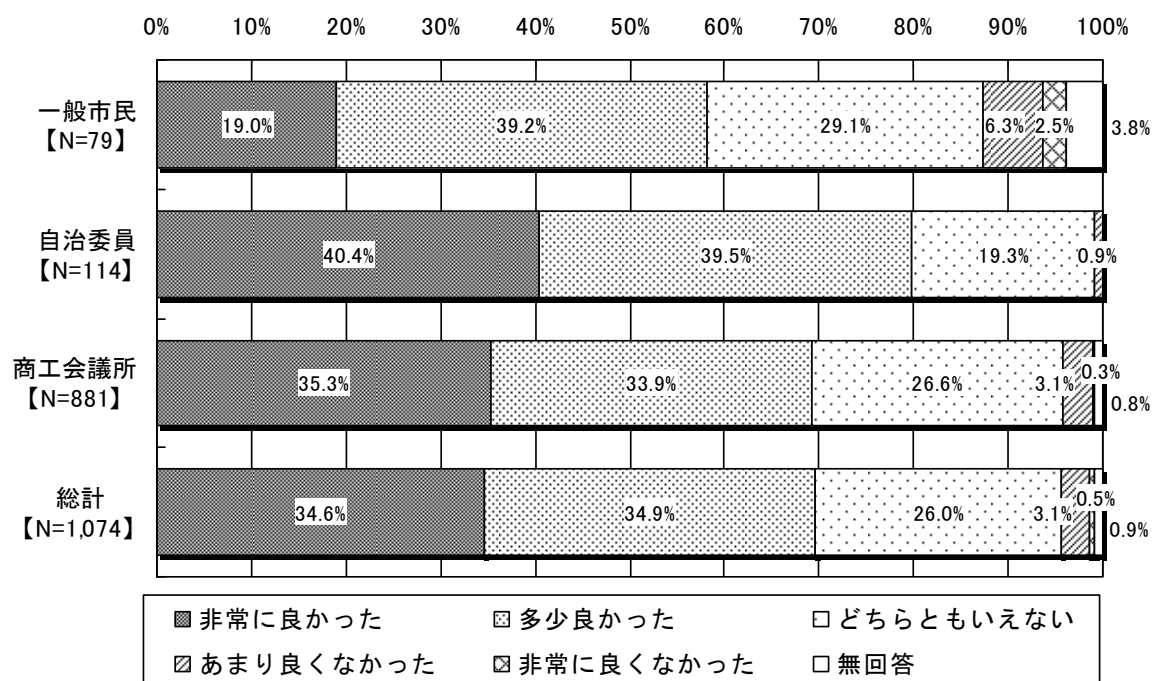
平成22年1月～2月

### 調査方法

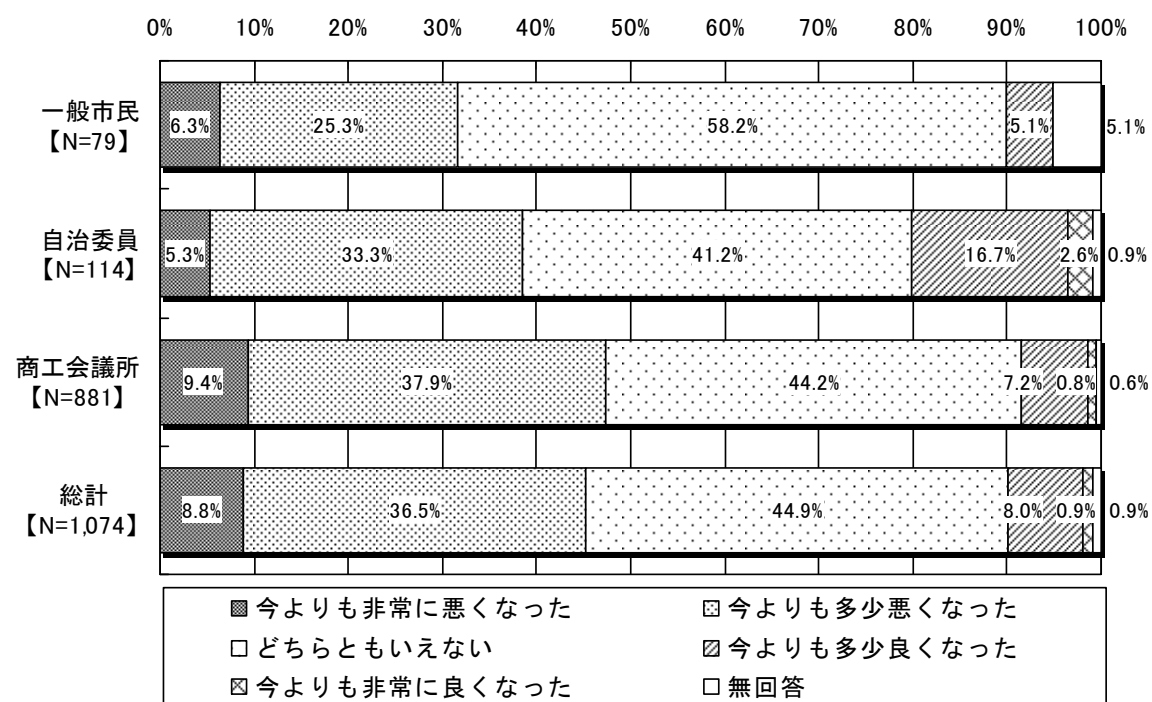
- ・ アンケート：郵送発送・回収
- ・ ヒアリング：訪問調査

## 別府市におけるアンケート調査結果

### ア 全般としてAPUができて・・・

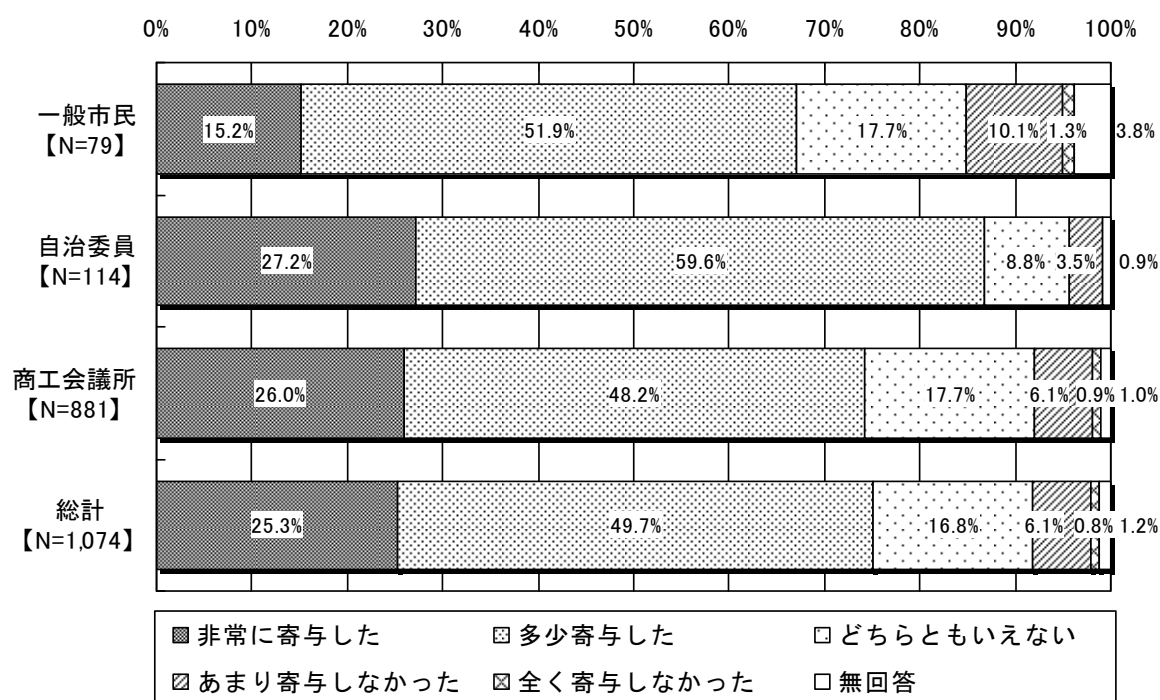


### イ APUが立地していなければ、別府の活性化は・・・

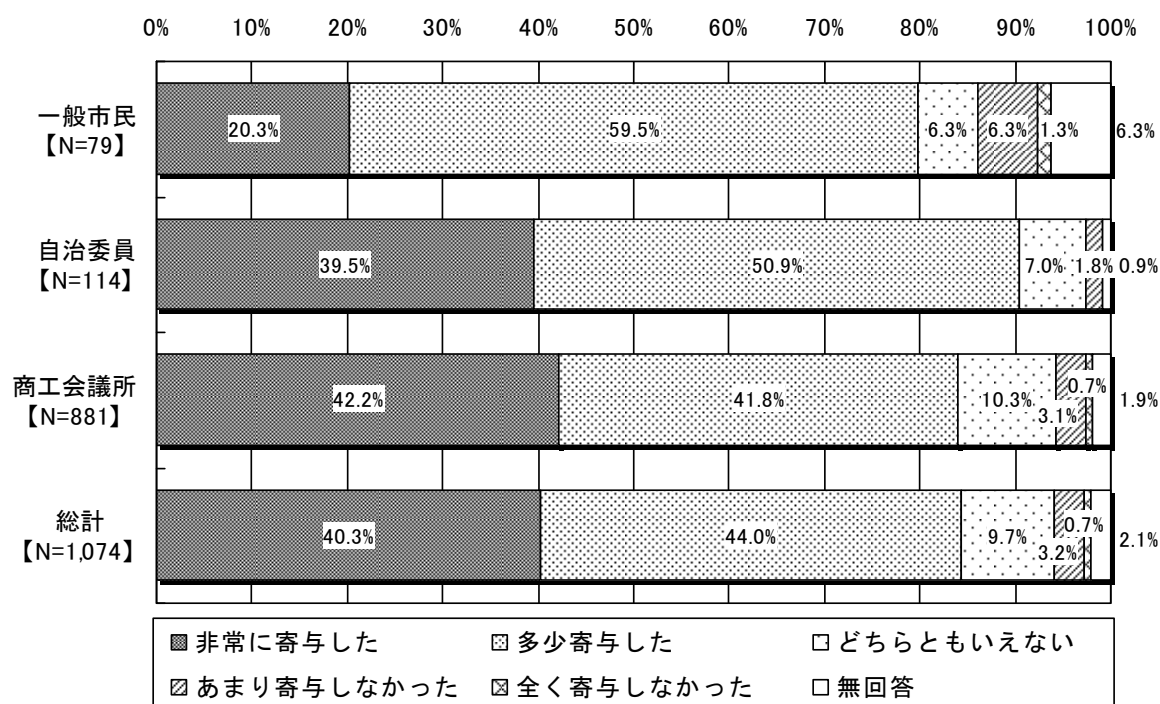




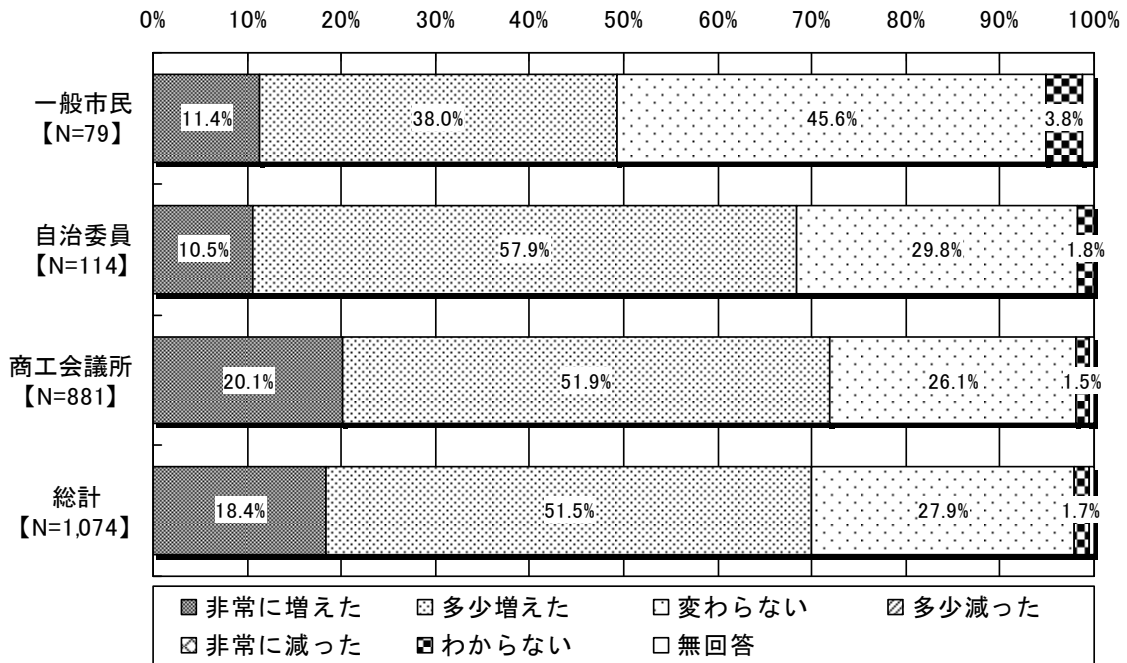
ウ APUの立地は、別府の活性化に・・・



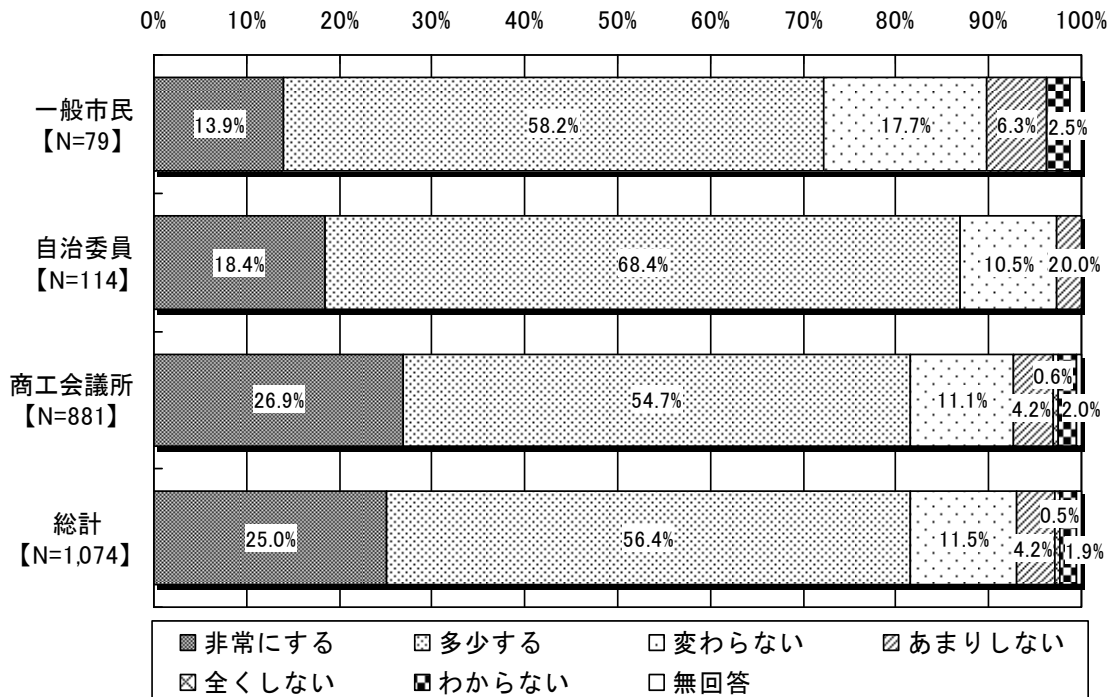
エ APUは別府の国際化に・・・



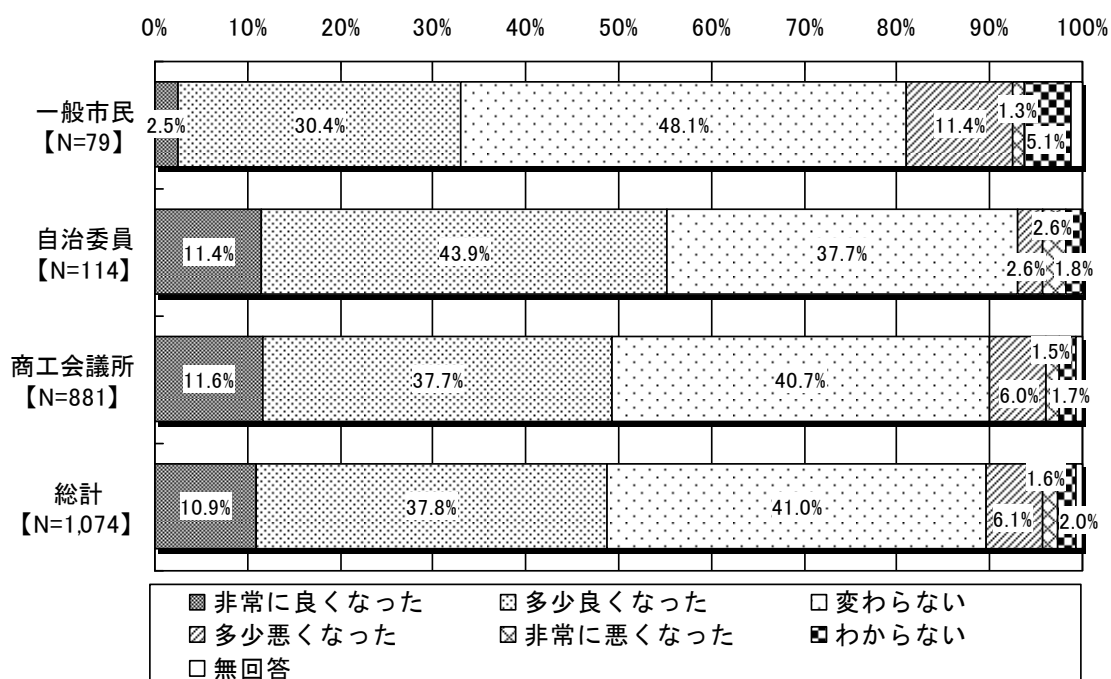
オ 外国人とふれあう機会は・・・



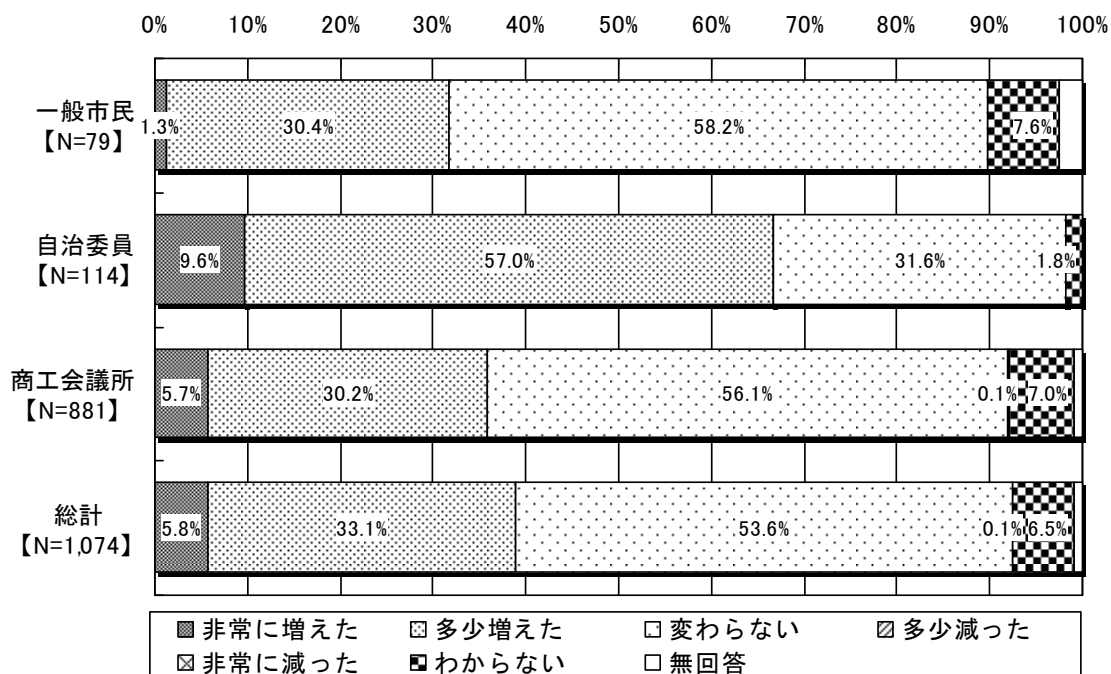
カ 若者が増えたような気が・・・



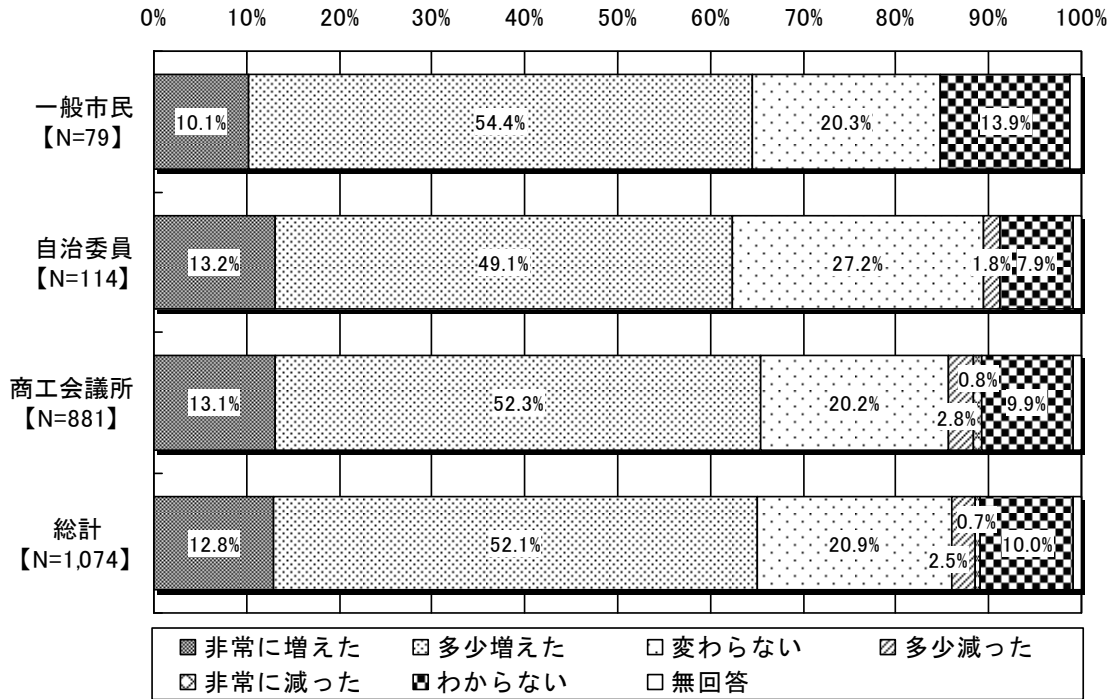
キ 外国人への印象は・・・



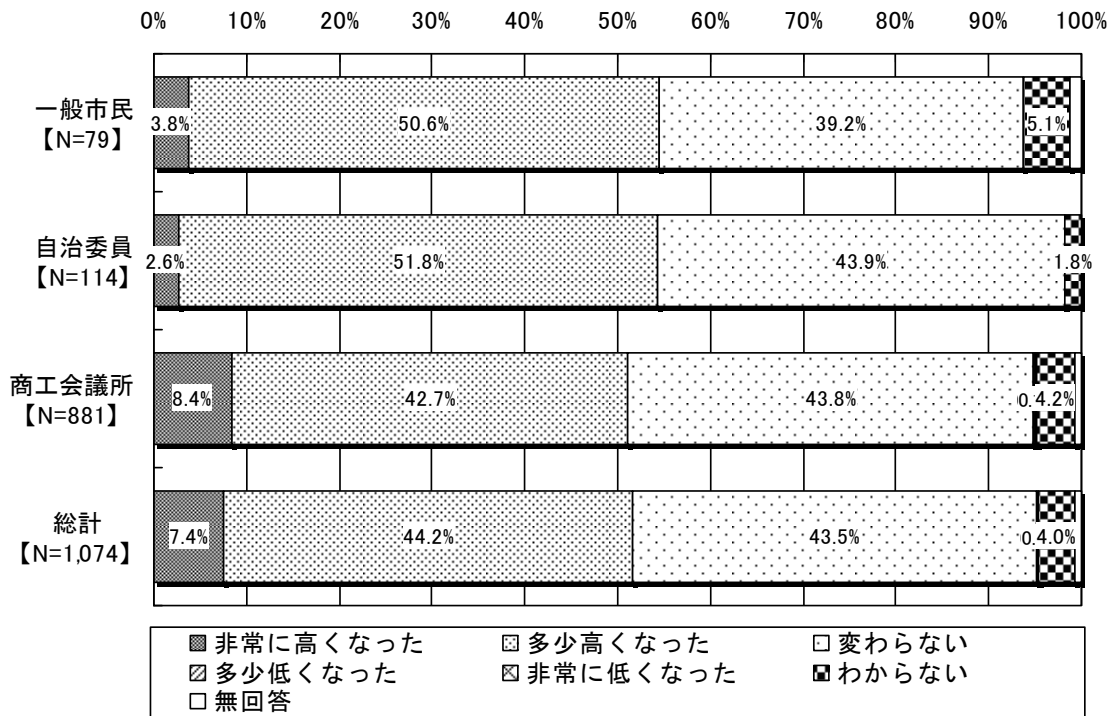
ク 公開講座など教育的・文化的・イベントに触れる機会は・・・



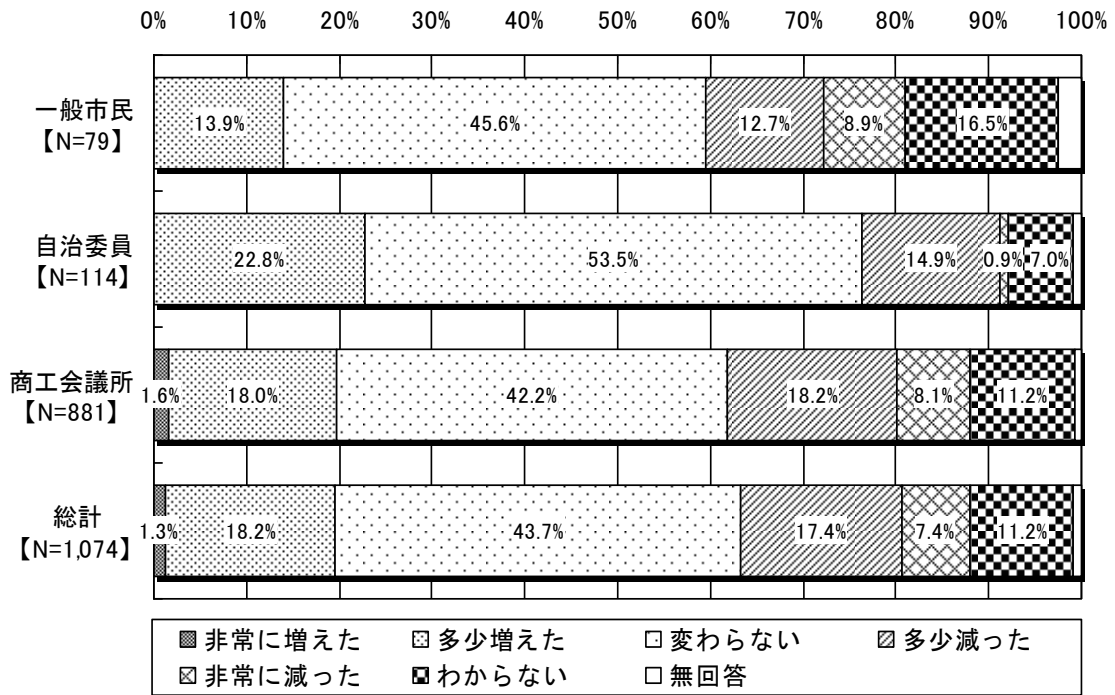
ケ 外国人の別府への来訪は・・・



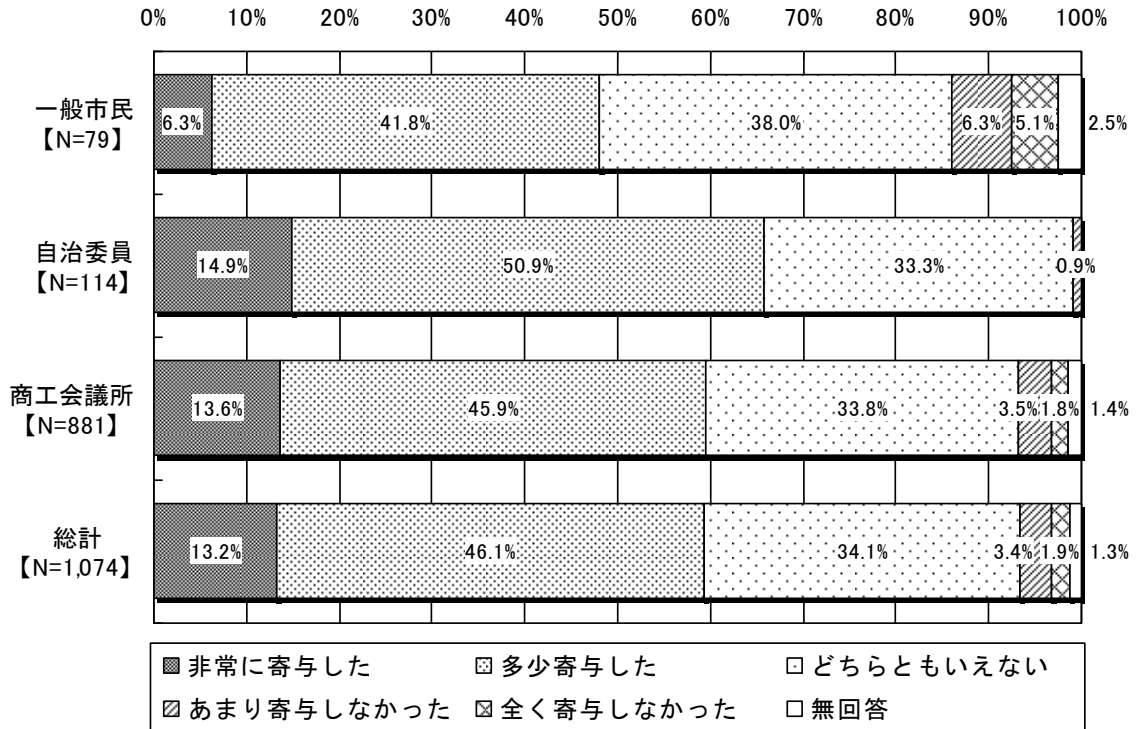
コ 日本人の別府への来訪は・・・



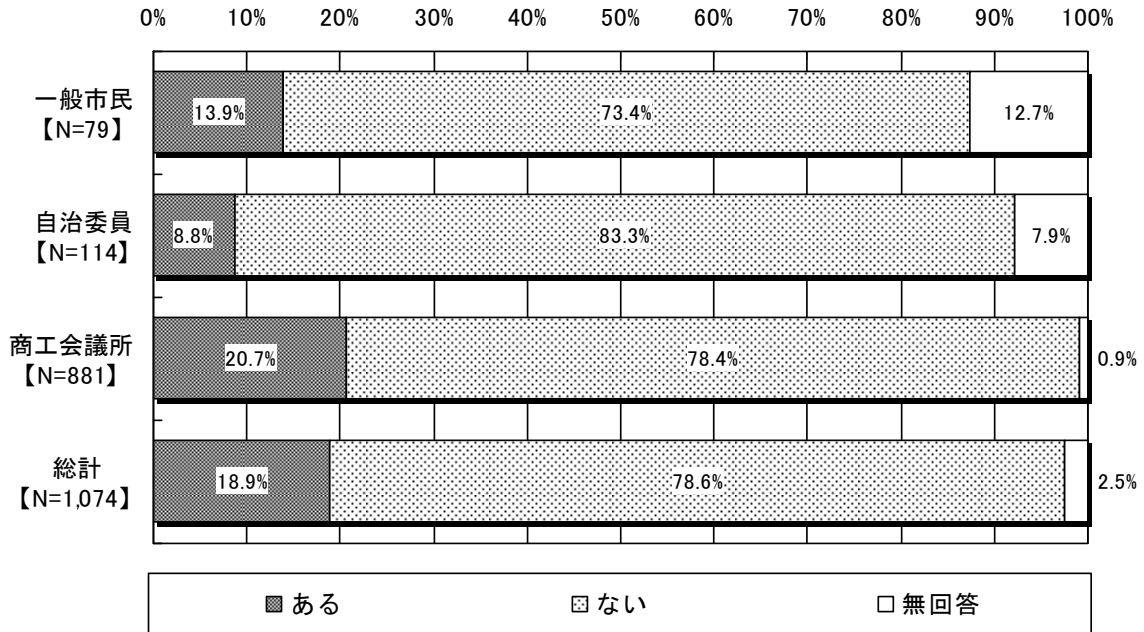
サ 外国語教育への関心は・・・



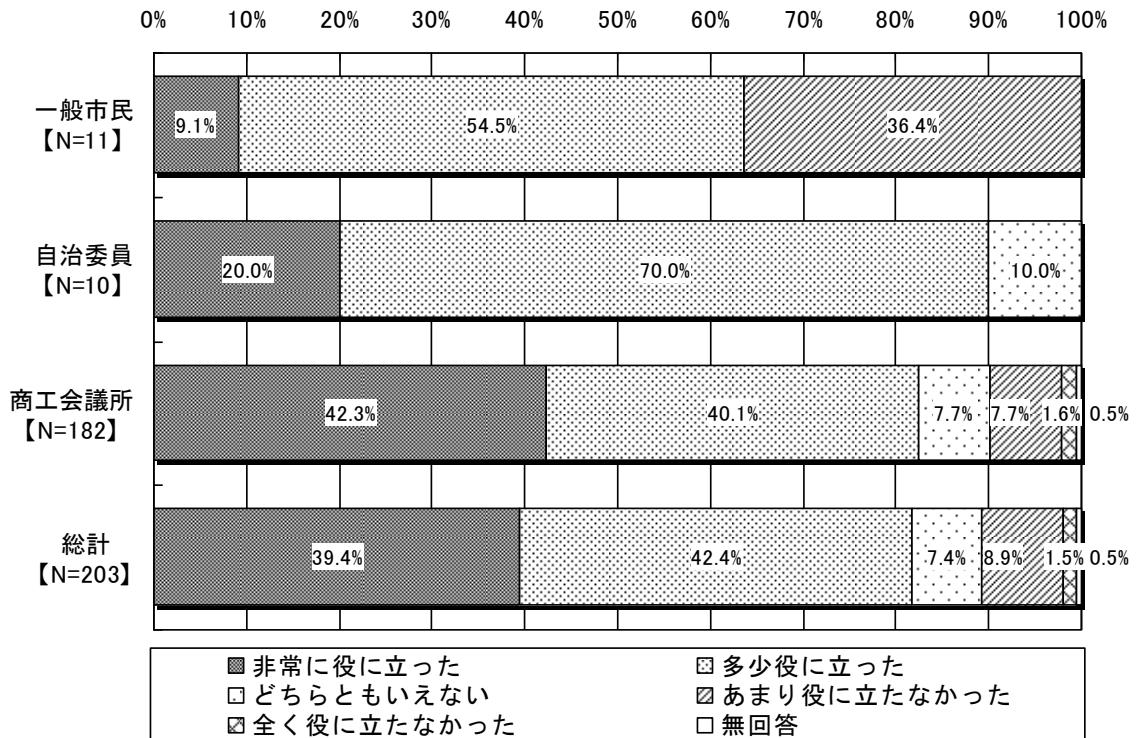
シ APUは別府の教育・知的レベルの向上に・・・



ス APU学生をアルバイトに採用したことが...

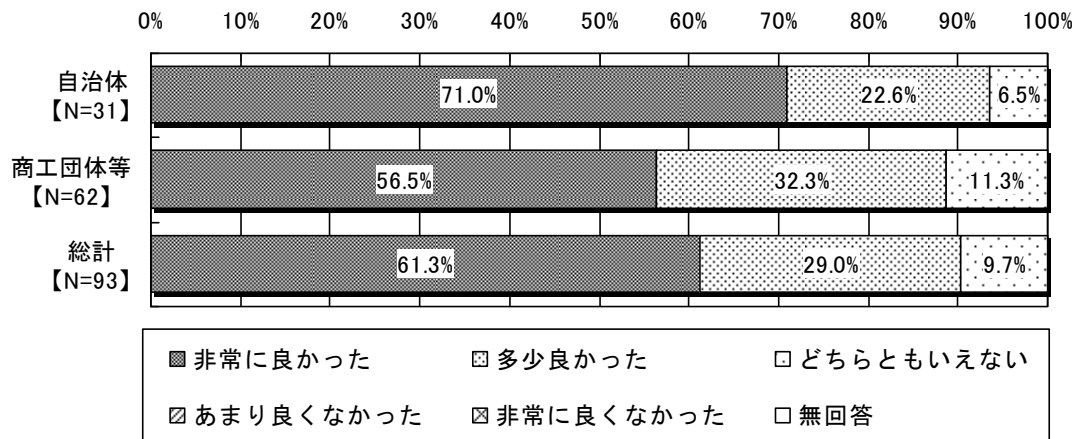


セ APU学生をアルバイトに採用して...

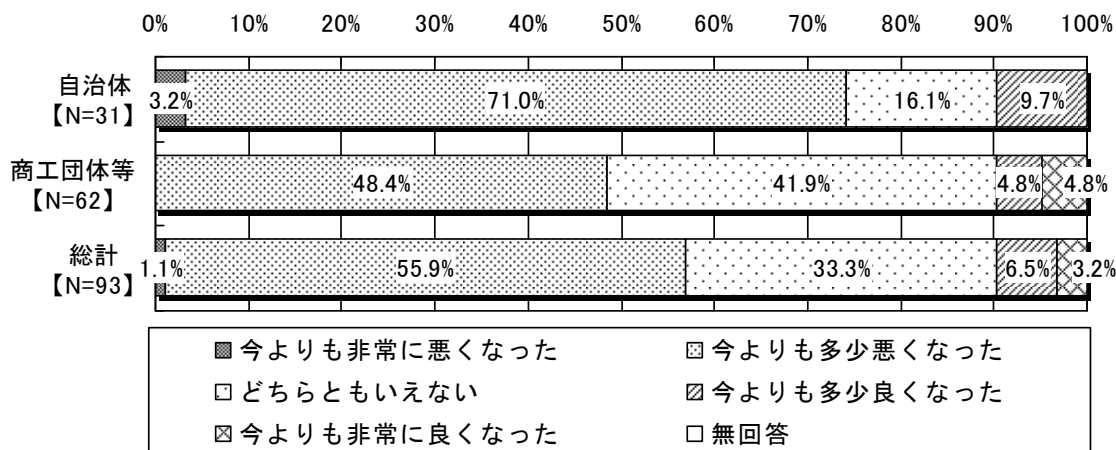


その他地域におけるアンケート調査結果

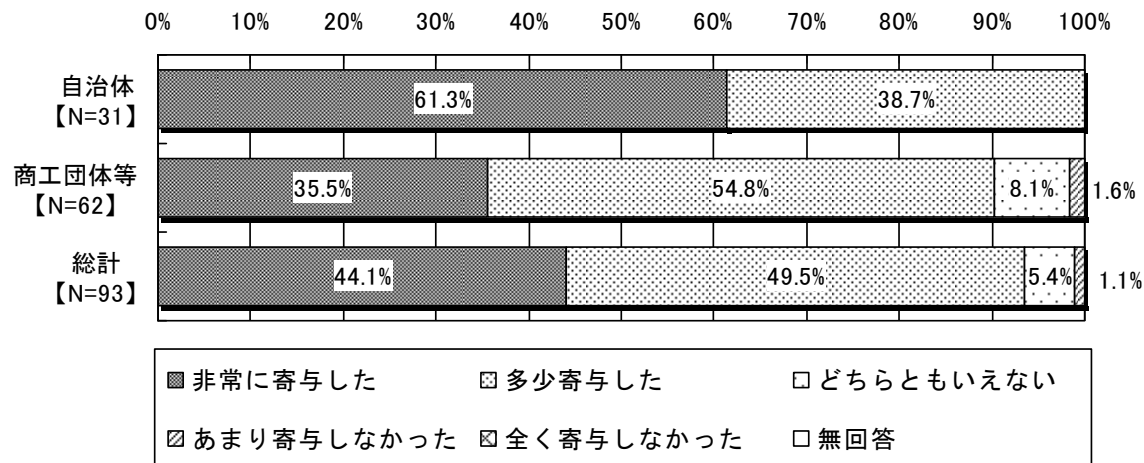
ア 全般としてAPUができて・・・



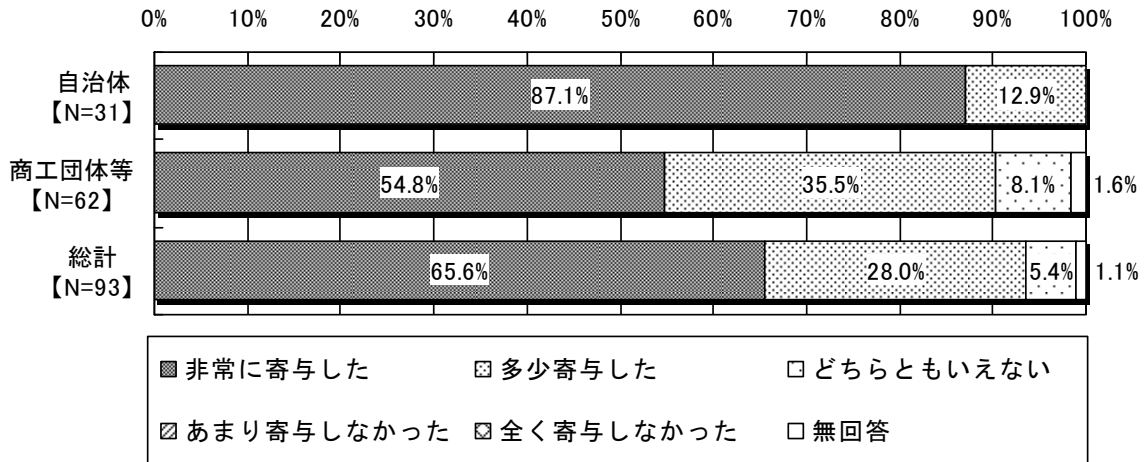
イ APUが立地していなければ、大分の活性化は・・・



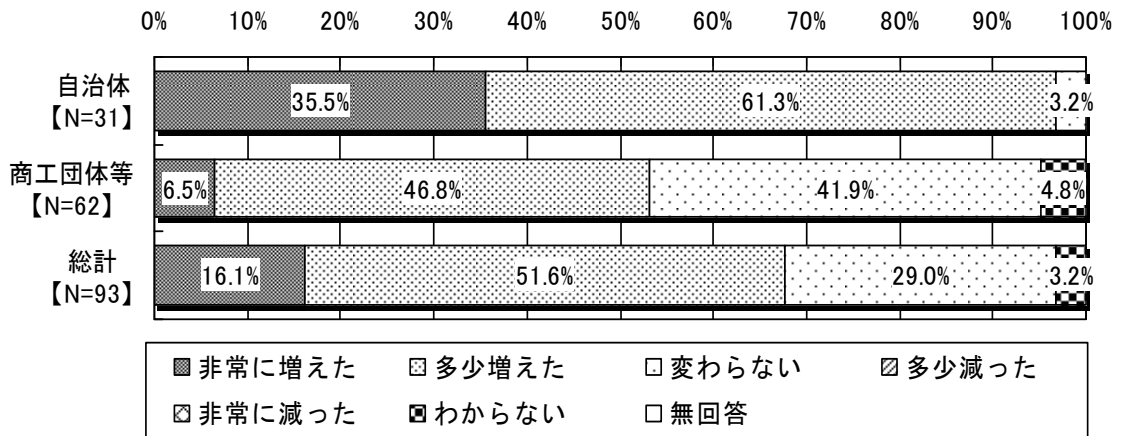
ウ APUの立地は、大分の活性化に・・・



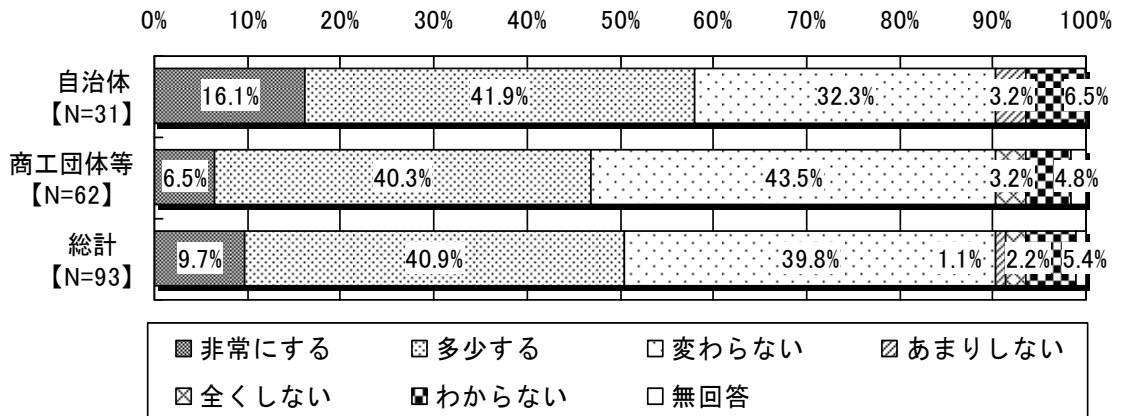
エ APUは大分の国際化に...



オ 外国人とふれあう機会は...

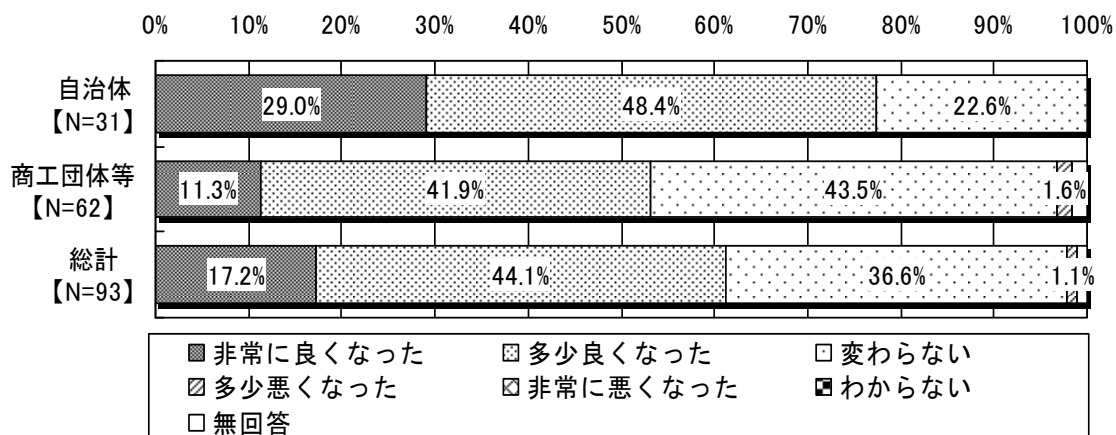


カ 若者が増えたような気が...

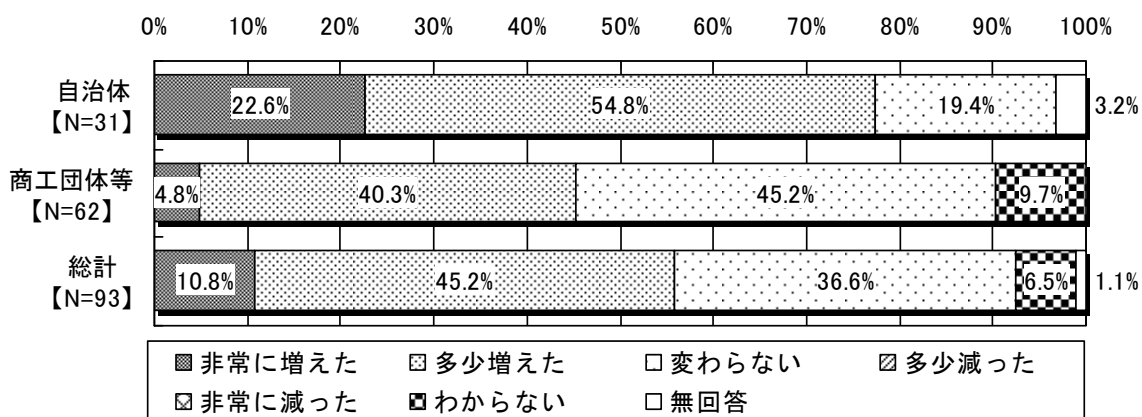




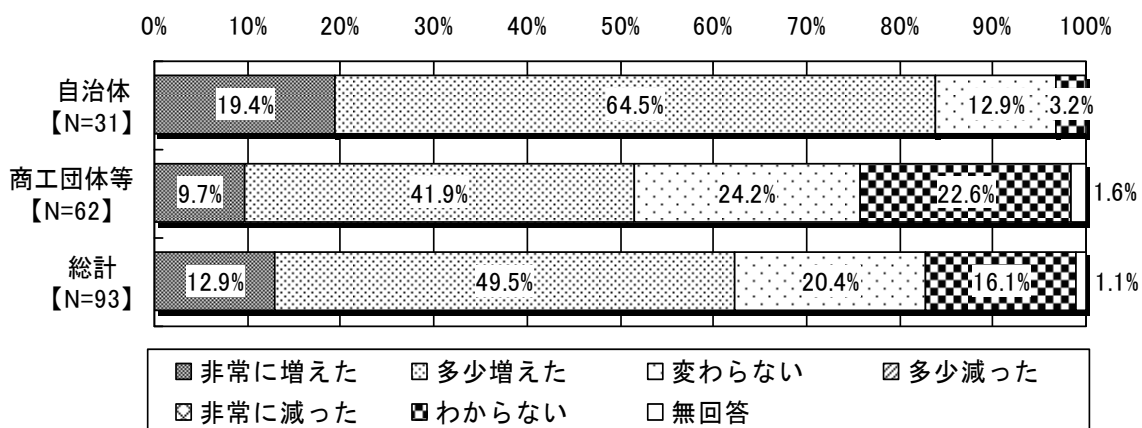
キ 外国人への印象は・・・



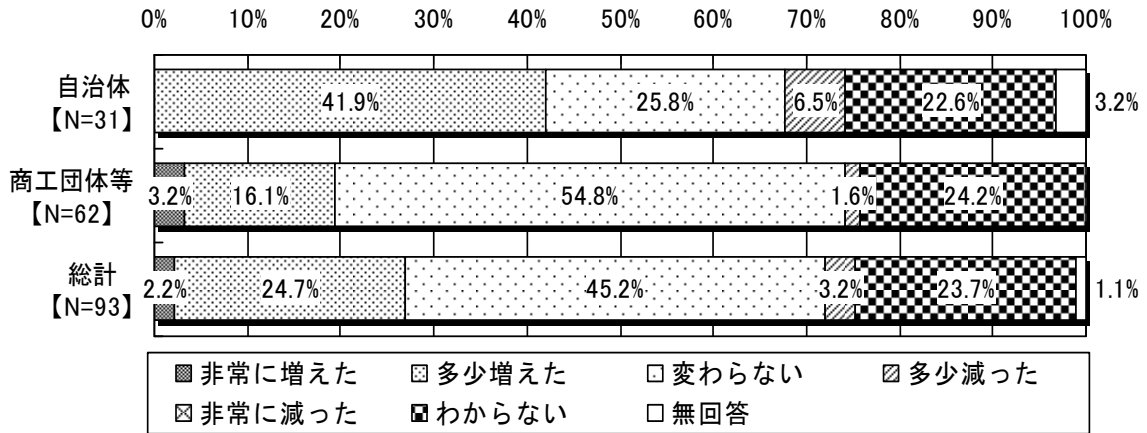
ク 公開講座など教育的・文化的・イベントに触れる機会は・・・



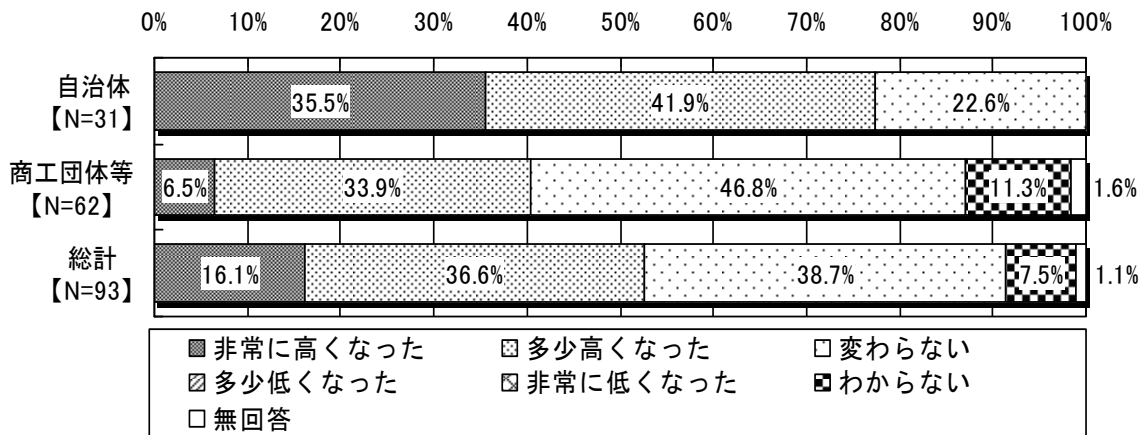
ケ 外国人の大分への来訪は・・・



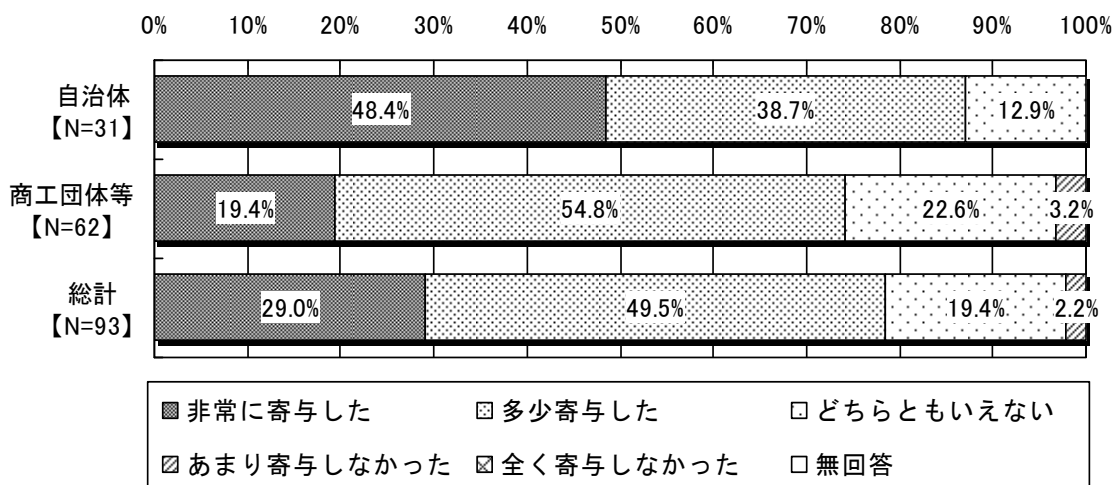
コ 日本人の大分への来訪は・・・



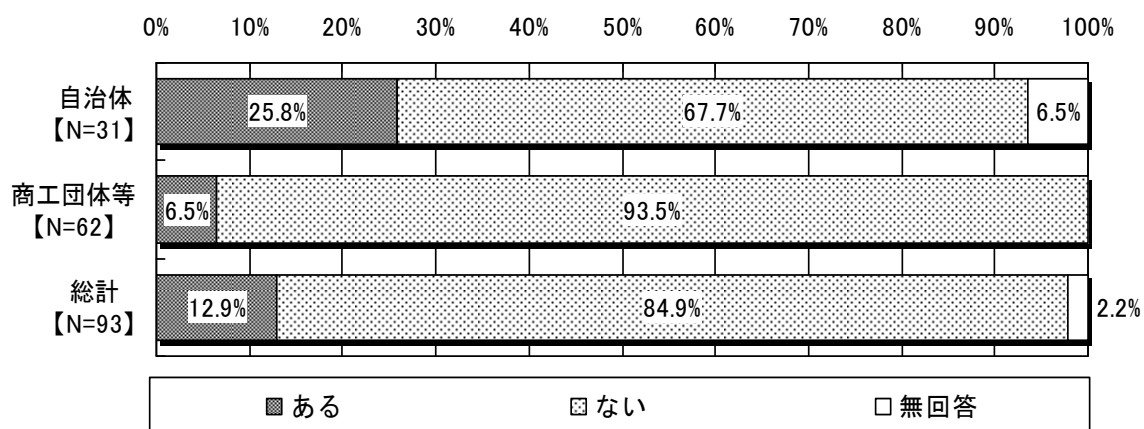
サ 外国語教育への関心は・・・



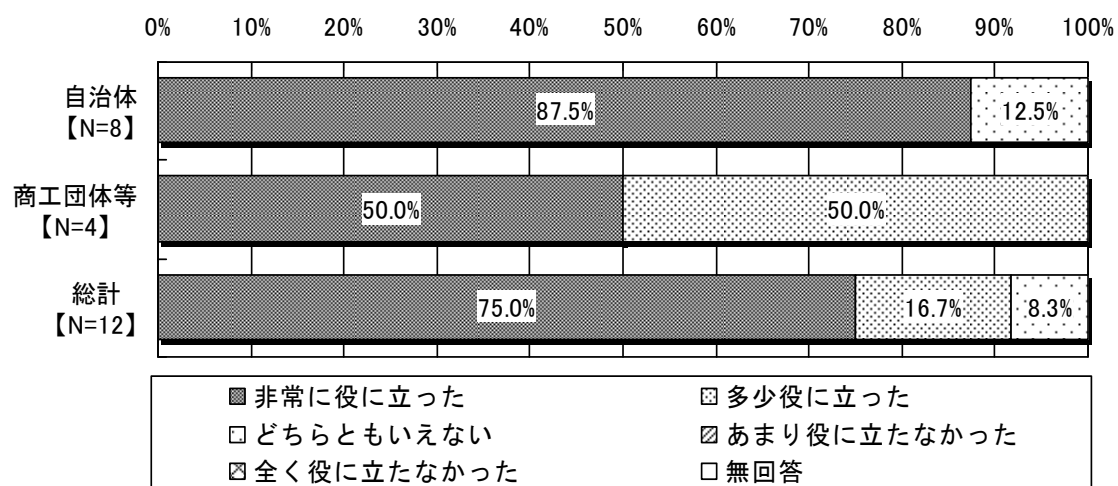
シ APUは大分の教育・知的レベルの向上に・・・



ス APU学生をアルバイトに採用したことが...



セ APU学生をアルバイトに採用して...



質問別クロス集計結果

(1) 全般として、APUができて・・・

1.04点 / 2点満点

		非常に良かった	多少良かった	良いとも悪いともいえない	あまり良くなかった	非常に良くなかった	無回答	計
総計		429 36.8%	402 34.4%	288 24.7%	33 2.8%	5 0.4%	10 0.9%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	28 31.8%	28 31.8%	26 29.5%	5 5.7%	1 1.1%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	23 34.8%	24 36.4%	18 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	64 35.4%	57 31.5%	43 23.8%	14 7.7%	3 1.7%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	28 31.1%	32 35.6%	26 28.9%	3 3.3%	0 0.0%	1 1.1%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	64 39.5%	55 34.0%	43 26.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	26 40.6%	18 28.1%	17 26.6%	2 3.1%	0 0.0%	1 1.6%	64 100.0%
	浜脇	7 21.2%	17 51.5%	9 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	101 34.4%	111 37.8%	72 24.5%	7 2.4%	1 0.3%	2 0.7%	294 100.0%
	別府市外	53 59.6%	27 30.3%	9 10.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	89 100.0%
	無回答	35 35.0%	33 33.0%	25 25.0%	2 2.0%	0 0.0%	5 5.0%	100 100.0%
	合計	429 36.8%	402 34.4%	288 24.7%	33 2.8%	5 0.4%	10 0.9%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	29 29.6%	36 36.7%	32 32.7%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	176 37.6%	158 33.8%	117 25.0%	12 2.6%	3 0.6%	2 0.4%	468 100.0%
	60代以上	200 37.7%	188 35.4%	119 22.4%	18 3.4%	2 0.4%	4 0.8%	531 100.0%
	無回答	24 34.3%	20 28.6%	20 28.6%	2 2.9%	0 0.0%	4 5.7%	70 100.0%
	合計	429 36.8%	402 34.4%	288 24.7%	33 2.8%	5 0.4%	10 0.9%	1167 100.0%
性別	男性	326 40.4%	284 35.2%	167 20.7%	22 2.7%	4 0.5%	4 0.5%	807 100.0%
	女性	78 27.5%	94 33.1%	100 35.2%	9 3.2%	1 0.4%	2 0.7%	284 100.0%
	無回答	25 32.9%	24 31.6%	21 27.6%	2 2.6%	0 0.0%	4 5.3%	76 100.0%
	合計	429 36.8%	402 34.4%	288 24.7%	33 2.8%	5 0.4%	10 0.9%	1167 100.0%

## (2) APUが立地していなければ、別府の経済は・・・

0.44点 /2点満点

		非常に悪くなった	多少悪くなった	どちらともいえない	多少良くなった	非常に良くなった	無回答	計
総計		95 8.1%	444 38.0%	513 44.0%	92 7.9%	13 1.1%	10 0.9%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	6 6.8%	37 42.0%	37 42.0%	6 6.8%	2 2.3%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	7 10.6%	28 42.4%	24 36.4%	5 7.6%	0 0.0%	2 3.0%	66 100.0%
	石垣・上人・	15 8.3%	57 31.5%	89 49.2%	15 8.3%	4 2.2%	1 0.6%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	9 10.0%	35 38.9%	43 47.8%	3 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	22 13.6%	54 33.3%	72 44.4%	14 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	4 6.3%	26 40.6%	30 46.9%	3 4.7%	0 0.0%	1 1.6%	64 100.0%
	浜脇	2 6.1%	8 24.2%	15 45.5%	8 24.2%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	23 7.8%	108 36.7%	137 46.6%	21 7.1%	3 1.0%	2 0.7%	294 100.0%
	別府市外	1 1.1%	50 56.2%	30 33.7%	5 5.6%	3 3.4%	0 0.0%	89 100.0%
	無回答	6 6.0%	41 41.0%	36 36.0%	12 12.0%	1 1.0%	4 4.0%	100 100.0%
	合計	95 8.1%	444 38.0%	513 44.0%	92 7.9%	13 1.1%	10 0.9%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	11 11.2%	41 41.8%	38 38.8%	7 7.1%	0 0.0%	1 1.0%	98 100.0%
	40・50代	42 9.0%	198 42.3%	201 42.9%	21 4.5%	4 0.9%	2 0.4%	468 100.0%
	60代以上	39 7.3%	177 33.3%	247 46.5%	56 10.5%	8 1.5%	4 0.8%	531 100.0%
	無回答	3 4.3%	28 40.0%	27 38.6%	8 11.4%	1 1.4%	3 4.3%	70 100.0%
	合計	95 8.1%	444 38.0%	513 44.0%	92 7.9%	13 1.1%	10 0.9%	1167 100.0%
性別	男性	78 9.7%	327 40.5%	334 41.4%	59 7.3%	5 0.6%	4 0.5%	807 100.0%
	女性	14 4.9%	87 30.6%	148 52.1%	25 8.8%	7 2.5%	3 1.1%	284 100.0%
	無回答	3 3.9%	30 39.5%	31 40.8%	8 10.5%	1 1.3%	3 3.9%	76 100.0%
	合計	95 8.1%	444 38.0%	513 44.0%	92 7.9%	13 1.1%	10 0.9%	1167 100.0%

## (3) APUの立地は、別府の活性化に・・・

0.96点 / 2点満点

		非常に 寄与した	多少 寄与した	どちらとも いえない	あまり寄与 しなかった	全く寄与 しなかった	無回答	計
総計		313 26.8%	580 49.7%	185 15.9%	67 5.7%	9 0.8%	13 1.1%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	26 29.5%	40 45.5%	13 14.8%	6 6.8%	3 3.4%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	19 28.8%	35 53.0%	9 13.6%	1 1.5%	0 0.0%	2 3.0%	66 100.0%
	石垣・上人・	47 26.0%	78 43.1%	37 20.4%	17 9.4%	1 0.6%	1 0.6%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	24 26.7%	43 47.8%	19 21.1%	4 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	39 24.1%	94 58.0%	20 12.3%	9 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	19 29.7%	29 45.3%	8 12.5%	6 9.4%	0 0.0%	2 3.1%	64 100.0%
	浜脇	6 18.2%	17 51.5%	8 24.2%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	65 22.1%	156 53.1%	51 17.3%	16 5.4%	4 1.4%	2 0.7%	294 100.0%
	別府市外	37 41.6%	46 51.7%	5 5.6%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	89 100.0%
	無回答	31 31.0%	42 42.0%	15 15.0%	5 5.0%	1 1.0%	6 6.0%	100 100.0%
	合計	313 26.8%	580 49.7%	185 15.9%	67 5.7%	9 0.8%	13 1.1%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	17 17.3%	64 65.3%	16 16.3%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	138 29.5%	214 45.7%	78 16.7%	29 6.2%	6 1.3%	3 0.6%	468 100.0%
	60代以上	140 26.4%	273 51.4%	78 14.7%	33 6.2%	2 0.4%	5 0.9%	531 100.0%
	無回答	18 25.7%	29 41.4%	13 18.6%	4 5.7%	1 1.4%	5 7.1%	70 100.0%
	合計	313 26.8%	580 49.7%	185 15.9%	67 5.7%	9 0.8%	13 1.1%	1167 100.0%
性別	男性	238 29.5%	406 50.3%	117 14.5%	38 4.7%	3 0.4%	5 0.6%	807 100.0%
	女性	57 20.1%	141 49.6%	53 18.7%	25 8.8%	5 1.8%	3 1.1%	284 100.0%
	無回答	18 23.7%	33 43.4%	15 19.7%	4 5.3%	1 1.3%	5 6.6%	76 100.0%
	合計	313 26.8%	580 49.7%	185 15.9%	67 5.7%	9 0.8%	13 1.1%	1167 100.0%

## (4) APUは別府の国際化に・・・

1. 23点 / 2点満点

		非常に 寄与した	多少 寄与した	どちらとも いえない	あまり寄与 しなかった	全く寄与 しなかった	無回答	計
総計		494 42.3%	499 42.8%	109 9.3%	34 2.9%	7 0.6%	24 2.1%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	39 44.3%	32 36.4%	11 12.5%	4 4.5%	2 2.3%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	32 48.5%	25 37.9%	4 6.1%	2 3.0%	0 0.0%	3 4.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	69 38.1%	87 48.1%	13 7.2%	10 5.5%	1 0.6%	1 0.6%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	43 47.8%	36 40.0%	6 6.7%	3 3.3%	1 1.1%	1 1.1%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	74 45.7%	68 42.0%	16 9.9%	1 0.6%	0 0.0%	3 1.9%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	27 42.2%	26 40.6%	7 10.9%	1 1.6%	0 0.0%	3 4.7%	64 100.0%
	浜脇	12 36.4%	19 57.6%	1 3.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	106 36.1%	139 47.3%	31 10.5%	10 3.4%	3 1.0%	5 1.7%	294 100.0%
	別府市外	57 64.0%	26 29.2%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	35 35.0%	41 41.0%	15 15.0%	2 2.0%	0 0.0%	7 7.0%	100 100.0%
	合計	494 42.3%	499 42.8%	109 9.3%	34 2.9%	7 0.6%	24 2.1%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	40 40.8%	48 49.0%	8 8.2%	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	213 45.5%	200 42.7%	29 6.2%	14 3.0%	5 1.1%	7 1.5%	468 100.0%
	60代以上	218 41.1%	226 42.6%	58 10.9%	16 3.0%	2 0.4%	11 2.1%	531 100.0%
	無回答	23 32.9%	25 35.7%	14 20.0%	2 2.9%	0 0.0%	6 8.6%	70 100.0%
	合計	494 42.3%	499 42.8%	109 9.3%	34 2.9%	7 0.6%	24 2.1%	1167 100.0%
性別	男性	365 45.2%	339 42.0%	68 8.4%	19 2.4%	4 0.5%	12 1.5%	807 100.0%
	女性	105 37.0%	131 46.1%	26 9.2%	13 4.6%	3 1.1%	6 2.1%	284 100.0%
	無回答	24 31.6%	29 38.2%	15 19.7%	2 2.6%	0 0.0%	6 7.9%	76 100.0%
	合計	494 42.3%	499 42.8%	109 9.3%	34 2.9%	7 0.6%	24 2.1%	1167 100.0%

## (5) 外国人と触れ合う機会は・・・

0.88点 /2点満点

		非常に 増えた	多少 増えた	変わらない	多少 減った	非常に 減った	わからない	無回答	計
総計		213 18.3%	601 51.5%	327 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 1.8%	5 0.4%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	13 14.8%	52 59.1%	22 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	17 25.8%	30 45.5%	16 24.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	1 1.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	33 18.2%	96 53.0%	49 27.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.7%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	9 10.0%	55 61.1%	23 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.3%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	38 23.5%	95 58.6%	28 17.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	12 18.8%	25 39.1%	26 40.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	4 12.1%	15 45.5%	14 42.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	54 18.4%	140 47.6%	95 32.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.0%	2 0.7%	294 100.0%
	別府市外	13 14.6%	46 51.7%	27 30.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%	0 0.0%	89 100.0%
	無回答	20 20.0%	47 47.0%	27 27.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.0%	2 2.0%	100 100.0%
	合計	213 18.3%	601 51.5%	327 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 1.8%	5 0.4%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	22 22.4%	51 52.0%	23 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	107 22.9%	244 52.1%	111 23.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.1%	1 0.2%	468 100.0%
	60代以上	71 13.4%	272 51.2%	174 32.8%	0 0.0%	0 0.0%	12 2.3%	2 0.4%	531 100.0%
	無回答	13 18.6%	34 48.6%	19 27.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	2 2.9%	70 100.0%
	合計	213 18.3%	601 51.5%	327 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 1.8%	5 0.4%	1167 100.0%
性別	男性	156 19.3%	422 52.3%	215 26.6%	0 0.0%	0 0.0%	11 1.4%	3 0.4%	807 100.0%
	女性	43 15.1%	142 50.0%	91 32.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 2.8%	0 0.0%	284 100.0%
	無回答	14 18.4%	37 48.7%	21 27.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	2 2.6%	76 100.0%
	合計	213 18.3%	601 51.5%	327 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 1.8%	5 0.4%	1167 100.0%



## (6) 若者が増えたような気が・・・

0.98点 /2点満点

		非常に する	多少 する	変わらない	あまり しない	全く しない	わからない	無回答	計
総計		278 23.8%	644 55.2%	161 13.8%	46 3.9%	7 0.6%	25 2.1%	6 0.5%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	29 33.0%	45 51.1%	9 10.2%	3 3.4%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	14 21.2%	37 56.1%	11 16.7%	1 1.5%	0 0.0%	2 3.0%	1 1.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	45 24.9%	109 60.2%	14 7.7%	7 3.9%	1 0.6%	5 2.8%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	20 22.2%	53 58.9%	11 12.2%	5 5.6%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	44 27.2%	95 58.6%	14 8.6%	6 3.7%	0 0.0%	2 1.2%	1 0.6%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	18 28.1%	30 46.9%	10 15.6%	3 4.7%	0 0.0%	2 3.1%	1 1.6%	64 100.0%
	浜脇	9 27.3%	16 48.5%	6 18.2%	1 3.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	71 24.1%	162 55.1%	39 13.3%	14 4.8%	2 0.7%	5 1.7%	1 0.3%	294 100.0%
	別府市外	8 9.0%	35 39.3%	37 41.6%	1 1.1%	2 2.2%	5 5.6%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	20 20.0%	62 62.0%	10 10.0%	5 5.0%	0 0.0%	2 2.0%	1 1.0%	100 100.0%
	合計	278 23.8%	644 55.2%	161 13.8%	46 3.9%	7 0.6%	25 2.1%	6 0.5%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	17 17.3%	52 53.1%	22 22.4%	3 3.1%	0 0.0%	4 4.1%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	133 28.4%	227 48.5%	77 16.5%	16 3.4%	5 1.1%	8 1.7%	2 0.4%	468 100.0%
	60代以上	116 21.8%	321 60.5%	54 10.2%	23 4.3%	2 0.4%	12 2.3%	3 0.6%	531 100.0%
	無回答	12 17.1%	44 62.9%	8 11.4%	4 5.7%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	70 100.0%
	合計	278 23.8%	644 55.2%	161 13.8%	46 3.9%	7 0.6%	25 2.1%	6 0.5%	1167 100.0%
性別	男性	201 24.9%	443 54.9%	106 13.1%	31 3.8%	6 0.7%	17 2.1%	3 0.4%	807 100.0%
	女性	64 22.5%	155 54.6%	44 15.5%	11 3.9%	1 0.4%	7 2.5%	2 0.7%	284 100.0%
	無回答	13 17.1%	46 60.5%	11 14.5%	4 5.3%	0 0.0%	1 1.3%	1 1.3%	76 100.0%
	合計	278 23.8%	644 55.2%	161 13.8%	46 3.9%	7 0.6%	25 2.1%	6 0.5%	1167 100.0%

## (7) 外国人への印象は・・・

0.53点 /2点満点

		非常に 良くなった	多少 良くなった	変わらない	多少 悪くなった	非常に 悪くなった	わから ない	無回答	計
総計		133 11.4%	447 38.3%	474 40.6%	66 5.7%	17 1.5%	21 1.8%	9 0.8%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	8 9.1%	38 43.2%	29 33.0%	10 11.4%	2 2.3%	1 1.1%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	12 18.2%	25 37.9%	24 36.4%	2 3.0%	0 0.0%	2 3.0%	1 1.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	16 8.8%	60 33.1%	77 42.5%	19 10.5%	7 3.9%	2 1.1%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	11 12.2%	33 36.7%	40 44.4%	1 1.1%	1 1.1%	3 3.3%	1 1.1%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	17 10.5%	59 36.4%	75 46.3%	6 3.7%	3 1.9%	2 1.2%	0 0.0%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	7 10.9%	25 39.1%	28 43.8%	3 4.7%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	3 9.1%	13 39.4%	16 48.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	30 10.2%	112 38.1%	120 40.8%	18 6.1%	3 1.0%	9 3.1%	2 0.7%	294 100.0%
	別府市外	14 15.7%	39 43.8%	34 38.2%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	15 15.0%	43 43.0%	31 31.0%	6 6.0%	0 0.0%	1 1.0%	4 4.0%	100 100.0%
	合計	133 11.4%	447 38.3%	474 40.6%	66 5.7%	17 1.5%	21 1.8%	9 0.8%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	10 10.2%	31 31.6%	42 42.9%	11 11.2%	1 1.0%	3 3.1%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	58 12.4%	173 37.0%	195 41.7%	24 5.1%	10 2.1%	5 1.1%	3 0.6%	468 100.0%
	60代以上	57 10.7%	214 40.3%	214 40.3%	26 4.9%	6 1.1%	12 2.3%	2 0.4%	531 100.0%
	無回答	8 11.4%	29 41.4%	23 32.9%	5 7.1%	0 0.0%	1 1.4%	4 5.7%	70 100.0%
	合計	133 11.4%	447 38.3%	474 40.6%	66 5.7%	17 1.5%	21 1.8%	9 0.8%	1167 100.0%
性別	男性	99 12.3%	314 38.9%	322 39.9%	43 5.3%	11 1.4%	15 1.9%	3 0.4%	807 100.0%
	女性	25 8.8%	102 35.9%	126 44.4%	18 6.3%	6 2.1%	5 1.8%	2 0.7%	284 100.0%
	無回答	9 11.8%	31 40.8%	26 34.2%	5 6.6%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.3%	76 100.0%
	合計	133 11.4%	447 38.3%	474 40.6%	66 5.7%	17 1.5%	21 1.8%	9 0.8%	1167 100.0%

## (8) 公開講座など教育的・文化的・イベントに触れる機会は…

0.46点 /2点満点

		非常に 増えた	多少 増えた	変わらない	多少 減った	非常に 減った	わからない	無回答	計
総計		72 6.2%	397 34.0%	610 52.3%	1 0.1%	0 0.0%	76 6.5%	11 0.9%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	2 2.3%	31 35.2%	52 59.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	7 10.6%	17 25.8%	33 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 7.6%	4 6.1%	66 100.0%
	石垣・上人・	5 2.8%	64 35.4%	98 54.1%	0 0.0%	0 0.0%	13 7.2%	1 0.6%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	8 8.9%	26 28.9%	50 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.7%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	10 6.2%	58 35.8%	87 53.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 3.7%	1 0.6%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	6 9.4%	17 26.6%	36 56.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 7.8%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	3 9.1%	10 30.3%	16 48.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	18 6.1%	96 32.7%	162 55.1%	1 0.3%	0 0.0%	14 4.8%	3 1.0%	294 100.0%
	別府市外	8 9.0%	40 44.9%	34 38.2%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.7%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	5 5.0%	38 38.0%	42 42.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 14.0%	1 1.0%	100 100.0%
	合計	72 6.2%	397 34.0%	610 52.3%	1 0.1%	0 0.0%	76 6.5%	11 0.9%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	2 2.0%	29 29.6%	60 61.2%	0 0.0%	0 0.0%	7 7.1%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	31 6.6%	149 31.8%	268 57.3%	1 0.2%	0 0.0%	17 3.6%	2 0.4%	468 100.0%
	60代以上	36 6.8%	197 37.1%	250 47.1%	0 0.0%	0 0.0%	40 7.5%	8 1.5%	531 100.0%
	無回答	3 4.3%	22 31.4%	32 45.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 17.1%	1 1.4%	70 100.0%
	合計	72 6.2%	397 34.0%	610 52.3%	1 0.1%	0 0.0%	76 6.5%	11 0.9%	1167 100.0%
性別	男性	53 6.6%	280 34.7%	426 52.8%	1 0.1%	0 0.0%	40 5.0%	7 0.9%	807 100.0%
	女性	16 5.6%	92 32.4%	149 52.5%	0 0.0%	0 0.0%	24 8.5%	3 1.1%	284 100.0%
	無回答	3 3.9%	25 32.9%	35 46.1%	0 0.0%	0 0.0%	12 15.8%	1 1.3%	76 100.0%
	合計	72 6.2%	397 34.0%	610 52.3%	1 0.1%	0 0.0%	76 6.5%	11 0.9%	1167 100.0%

## (9) 外国人の別府への来訪は・・・

0.74点 /2点満点

		非常に 増えた	多少 増えた	変わらない	多少 減った	非常に 減った	わからない	無回答	計
総計		150 12.9%	606 51.9%	244 20.9%	27 2.3%	7 0.6%	122 10.5%	11 0.9%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	13 14.8%	37 42.0%	23 26.1%	1 1.1%	2 2.3%	12 13.6%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	13 19.7%	27 40.9%	17 25.8%	2 3.0%	0 0.0%	5 7.6%	2 3.0%	66 100.0%
	石垣・上人・	18 9.9%	95 52.5%	42 23.2%	5 2.8%	2 1.1%	19 10.5%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	16 17.8%	46 51.1%	18 20.0%	1 1.1%	0 0.0%	9 10.0%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	22 13.6%	89 54.9%	35 21.6%	4 2.5%	1 0.6%	9 5.6%	2 1.2%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	10 15.6%	25 39.1%	13 20.3%	2 3.1%	0 0.0%	14 21.9%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	5 15.2%	16 48.5%	5 15.2%	3 9.1%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	33 11.2%	166 56.5%	56 19.0%	8 2.7%	2 0.7%	26 8.8%	3 1.0%	294 100.0%
	別府市外	11 12.4%	43 48.3%	19 21.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 16.9%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	9 9.0%	62 62.0%	16 16.0%	1 1.0%	0 0.0%	9 9.0%	3 3.0%	100 100.0%
	合計	150 12.9%	606 51.9%	244 20.9%	27 2.3%	7 0.6%	122 10.5%	11 0.9%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	18 18.4%	52 53.1%	18 18.4%	0 0.0%	0 0.0%	10 10.2%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	69 14.7%	238 50.9%	93 19.9%	14 3.0%	3 0.6%	49 10.5%	2 0.4%	468 100.0%
	60代以上	58 10.9%	275 51.8%	120 22.6%	12 2.3%	4 0.8%	56 10.5%	6 1.1%	531 100.0%
	無回答	5 7.1%	41 58.6%	13 18.6%	1 1.4%	0 0.0%	7 10.0%	3 4.3%	70 100.0%
	合計	150 12.9%	606 51.9%	244 20.9%	27 2.3%	7 0.6%	122 10.5%	11 0.9%	1167 100.0%
性別	男性	107 13.3%	408 50.6%	171 21.2%	23 2.9%	5 0.6%	86 10.7%	7 0.9%	807 100.0%
	女性	38 13.4%	151 53.2%	60 21.1%	3 1.1%	2 0.7%	29 10.2%	1 0.4%	284 100.0%
	無回答	5 6.6%	47 61.8%	13 17.1%	1 1.3%	0 0.0%	7 9.2%	3 3.9%	76 100.0%
	合計	150 12.9%	606 51.9%	244 20.9%	27 2.3%	7 0.6%	122 10.5%	11 0.9%	1167 100.0%

## (10) 日本人の別府への来訪は・・・

-0.08点 /2点満点

		非常に 増えた	多少 増えた	変わらない	多少 減った	非常に 減った	わからない	無回答	計
総計		16 1.4%	219 18.8%	511 43.8%	190 16.3%	79 6.8%	142 12.2%	10 0.9%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	1 1.1%	12 13.6%	41 46.6%	11 12.5%	10 11.4%	13 14.8%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	3 4.5%	14 21.2%	24 36.4%	11 16.7%	4 6.1%	8 12.1%	2 3.0%	66 100.0%
	石垣・上人・	0 0.0%	28 15.5%	86 47.5%	31 17.1%	11 6.1%	25 13.8%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	0 0.0%	19 21.1%	38 42.2%	19 21.1%	3 3.3%	11 12.2%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	3 1.9%	29 17.9%	75 46.3%	28 17.3%	16 9.9%	9 5.6%	2 1.2%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	1 1.6%	12 18.8%	22 34.4%	7 10.9%	8 12.5%	14 21.9%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	0 0.0%	5 15.2%	18 54.5%	5 15.2%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	4 1.4%	56 19.0%	132 44.9%	59 20.1%	18 6.1%	24 8.2%	1 0.3%	294 100.0%
	別府市外	2 2.2%	20 22.5%	41 46.1%	3 3.4%	0 0.0%	22 24.7%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	2 2.0%	24 24.0%	34 34.0%	16 16.0%	7 7.0%	13 13.0%	4 4.0%	100 100.0%
	合計	16 1.4%	219 18.8%	511 43.8%	190 16.3%	79 6.8%	142 12.2%	10 0.9%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	1 1.0%	19 19.4%	52 53.1%	9 9.2%	2 2.0%	15 15.3%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	9 1.9%	73 15.6%	205 43.8%	80 17.1%	46 9.8%	53 11.3%	2 0.4%	468 100.0%
	60代以上	5 0.9%	114 21.5%	229 43.1%	88 16.6%	24 4.5%	66 12.4%	5 0.9%	531 100.0%
	無回答	1 1.4%	13 18.6%	25 35.7%	13 18.6%	7 10.0%	8 11.4%	3 4.3%	70 100.0%
	合計	16 1.4%	219 18.8%	511 43.8%	190 16.3%	79 6.8%	142 12.2%	10 0.9%	1167 100.0%
性別	男性	14 1.7%	141 17.5%	366 45.4%	139 17.2%	51 6.3%	91 11.3%	5 0.6%	807 100.0%
	女性	1 0.4%	63 22.2%	116 40.8%	38 13.4%	21 7.4%	43 15.1%	2 0.7%	284 100.0%
	無回答	1 1.3%	15 19.7%	29 38.2%	13 17.1%	7 9.2%	8 10.5%	3 3.9%	76 100.0%
	合計	16 1.4%	219 18.8%	511 43.8%	190 16.3%	79 6.8%	142 12.2%	10 0.9%	1167 100.0%

## (11) 外国語教育への関心は・・・

0.60点 /2点満点

		非常に 高くなった	多少 高くなった	変わらない	多少 低くなった	非常に 低くなった	わからない	無回答	計
総計		95 8.1%	509 43.6%	503 43.1%	1 0.1%	1 0.1%	50 4.3%	8 0.7%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	3 3.4%	39 44.3%	44 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	5 7.6%	30 45.5%	26 39.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.5%	2 3.0%	66 100.0%
	石垣・上人・	14 7.7%	73 40.3%	85 47.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 5.0%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	3 3.3%	43 47.8%	42 46.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	11 6.8%	76 46.9%	69 42.6%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.1%	1 0.6%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	5 7.8%	33 51.6%	23 35.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.7%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	3 9.1%	8 24.2%	21 63.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	29 9.9%	119 40.5%	129 43.9%	1 0.3%	0 0.0%	14 4.8%	2 0.7%	294 100.0%
	別府市外	12 13.5%	33 37.1%	36 40.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 7.9%	1 1.1%	89 100.0%
	無回答	10 10.0%	55 55.0%	28 28.0%	0 0.0%	1 1.0%	5 5.0%	1 1.0%	100 100.0%
	合計	95 8.1%	509 43.6%	503 43.1%	1 0.1%	1 0.1%	50 4.3%	8 0.7%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	7 7.1%	45 45.9%	42 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.1%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	52 11.1%	192 41.0%	209 44.7%	1 0.2%	0 0.0%	13 2.8%	1 0.2%	468 100.0%
	60代以上	31 5.8%	233 43.9%	231 43.5%	0 0.0%	0 0.0%	30 5.6%	6 1.1%	531 100.0%
	無回答	5 7.1%	39 55.7%	21 30.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	1 1.4%	70 100.0%
	合計	95 8.1%	509 43.6%	503 43.1%	1 0.1%	1 0.1%	50 4.3%	8 0.7%	1167 100.0%
性別	男性	67 8.3%	337 41.8%	365 45.2%	1 0.1%	0 0.0%	33 4.1%	4 0.5%	807 100.0%
	女性	23 8.1%	130 45.8%	114 40.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 4.9%	3 1.1%	284 100.0%
	無回答	5 6.6%	42 55.3%	24 31.6%	0 0.0%	1 1.3%	3 3.9%	1 1.3%	76 100.0%
	合計	95 8.1%	509 43.6%	503 43.1%	1 0.1%	1 0.1%	50 4.3%	8 0.7%	1167 100.0%

## (12) APUは別府の教育・知的レベルの向上に・・・

0.69点 /2点満点

		非常に 寄与した	多少 寄与した	どちらとも いえない	あまり寄与 しなかった	全く寄与 しなかった	無回答	計
総計		169 14.5%	541 46.4%	384 32.9%	39 3.3%	20 1.7%	14 1.2%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	13 14.8%	35 39.8%	34 38.6%	2 2.3%	4 4.5%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	16 24.2%	27 40.9%	18 27.3%	2 3.0%	0 0.0%	3 4.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	21 11.6%	83 45.9%	61 33.7%	10 5.5%	6 3.3%	0 0.0%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	13 14.4%	35 38.9%	38 42.2%	3 3.3%	0 0.0%	1 1.1%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	23 14.2%	81 50.0%	49 30.2%	4 2.5%	2 1.2%	3 1.9%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	11 17.2%	27 42.2%	22 34.4%	2 3.1%	0 0.0%	2 3.1%	64 100.0%
	浜脇	3 9.1%	15 45.5%	14 42.4%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	33 11.2%	135 45.9%	104 35.4%	11 3.7%	7 2.4%	4 1.4%	294 100.0%
	別府市外	24 27.0%	45 50.6%	18 20.2%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	89 100.0%
	無回答	12 12.0%	58 58.0%	26 26.0%	2 2.0%	1 1.0%	1 1.0%	100 100.0%
	合計	169 14.5%	541 46.4%	384 32.9%	39 3.3%	20 1.7%	14 1.2%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	13 13.3%	39 39.8%	39 39.8%	5 5.1%	1 1.0%	1 1.0%	98 100.0%
	40・50代	76 16.2%	205 43.8%	154 32.9%	14 3.0%	12 2.6%	7 1.5%	468 100.0%
	60代以上	71 13.4%	259 48.8%	172 32.4%	18 3.4%	6 1.1%	5 0.9%	531 100.0%
	無回答	9 12.9%	38 54.3%	19 27.1%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%	70 100.0%
	合計	169 14.5%	541 46.4%	384 32.9%	39 3.3%	20 1.7%	14 1.2%	1167 100.0%
性別	男性	124 15.4%	376 46.6%	270 33.5%	18 2.2%	12 1.5%	7 0.9%	807 100.0%
	女性	36 12.7%	126 44.4%	90 31.7%	19 6.7%	7 2.5%	6 2.1%	284 100.0%
	無回答	9 11.8%	39 51.3%	24 31.6%	2 2.6%	1 1.3%	1 1.3%	76 100.0%
	合計	169 14.5%	541 46.4%	384 32.9%	39 3.3%	20 1.7%	14 1.2%	1167 100.0%

(13) APU学生をアルバイトに採用したことが・・・

		ある	ない	無回答	計
総計		215 18.4%	923 79.1%	29 2.5%	1167 100.0%
地域別	亀川・関の江	15 17.0%	73 83.0%	0 0.0%	88 100.0%
	鉄輪・火売・北中	21 31.8%	42 63.6%	3 4.5%	66 100.0%
	石垣・上人・	33 18.2%	146 80.7%	2 1.1%	181 100.0%
	荘園・大畑・立石	15 16.7%	73 81.1%	2 2.2%	90 100.0%
	若草町・野口町・北浜	48 29.6%	114 70.4%	0 0.0%	162 100.0%
	山の手町・中島町・光町	9 14.1%	55 85.9%	0 0.0%	64 100.0%
	浜脇	3 9.1%	30 90.9%	0 0.0%	33 100.0%
	その他別府市内	44 15.0%	239 81.3%	11 3.7%	294 100.0%
	別府市外	10 11.2%	77 86.5%	2 2.2%	89 100.0%
	無回答	17 17.0%	74 74.0%	9 9.0%	100 100.0%
	合計	215 18.4%	923 79.1%	29 2.5%	1167 100.0%
年齢別	20・30代	26 26.5%	72 73.5%	0 0.0%	98 100.0%
	40・50代	107 22.9%	355 75.9%	6 1.3%	468 100.0%
	60代以上	68 12.8%	443 83.4%	20 3.8%	531 100.0%
	無回答	14 20.0%	53 75.7%	3 4.3%	70 100.0%
	合計	215 18.4%	923 79.1%	29 2.5%	1167 100.0%
性別	男性	147 18.2%	639 79.2%	21 2.6%	807 100.0%
	女性	52 18.3%	227 79.9%	5 1.8%	284 100.0%
	無回答	16 21.1%	57 75.0%	3 3.9%	76 100.0%
	合計	215 18.4%	923 79.1%	29 2.5%	1167 100.0%



## (14) APU学生をアルバイトに採用して・・・

1. 13点 / 2点満点

		非常に役に立った	多少役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった	無回答	計
総計		89 41.4%	88 40.9%	16 7.4%	18 8.4%	3 1.4%	1 0.5%	215 100.0%
地域別	亀川・関の江	5 33.3%	6 40.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
	鉄輪・火売・北中	8 38.1%	9 42.9%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
	石垣・上人・	9 27.3%	20 60.6%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	荘園・大畑・立石	3 20.0%	7 46.7%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
	若草町・野口町・北浜	20 41.7%	21 43.8%	5 10.4%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%
	山の手町・中島町・光町	6 66.7%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
	浜脇	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	その他別府市内	21 47.7%	13 29.5%	4 9.1%	5 11.4%	1 2.3%	0 0.0%	44 100.0%
	別府市外	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
	無回答	10 58.8%	5 29.4%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
	合計	89 41.4%	88 40.9%	16 7.4%	18 8.4%	3 1.4%	1 0.5%	215 100.0%
年齢別	20・30代	10 38.5%	13 50.0%	1 3.8%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%
	40・50代	45 42.1%	41 38.3%	9 8.4%	10 9.3%	1 0.9%	1 0.9%	107 100.0%
	60代以上	25 36.8%	31 45.6%	5 7.4%	5 7.4%	2 2.9%	0 0.0%	68 100.0%
	無回答	9 64.3%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%
	合計	89 41.4%	88 40.9%	16 7.4%	18 8.4%	3 1.4%	1 0.5%	215 100.0%
性別	男性	57 38.8%	64 43.5%	12 8.2%	11 7.5%	2 1.4%	1 0.7%	147 100.0%
	女性	23 44.2%	19 36.5%	3 5.8%	6 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	52 100.0%
	無回答	9 56.3%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
	合計	89 41.4%	88 40.9%	16 7.4%	18 8.4%	3 1.4%	1 0.5%	215 100.0%